

No.	区分	意見の概要	市の考え方	反映
1	はじめに	「1,000 席以上のホールは、実質的には市民会館と千葉県文化会館のみで、いずれも築年数が古い。」との記述があるが、平成31年1月当時の状況である。 その後、千葉県文化会館はリニューアルをして再開しており、今では状況が違っている。追記すべきではないか。	経緯として平成31年1月当時の状況を記載しているものであるため、原案通りの記載とします。	—
2	第1章	1. JR駅前に建設する場合 ① 新市民会館が担う役割のひとつにある、まちの活性化ですが、千葉駅周辺に限局した人の流れになるので、まちの活性化に寄与するのはあまり期待できないと思います。	本施設を千葉駅前に整備することにより、市内外から多くの人が集い、交流する新たな都市活動を生み出すとともに、駅周辺の商業、観光、業務等の都市機能との相乗効果により、まちなかの回遊性向上やにぎわい創出につなげていく予定であり、「千葉駅周辺の活性化グランドデザイン」が目指すまちづくりの実現に寄与するものと考えております。頂いたご提案内容等については、今後の検討の参考にさせていただきます。	—
3	第1章	② ただ、メリットとしては、自家用車を使わない人が利用しやすい。千葉市以外から来る人にとっては分かり易い。		—
4	第1章	2. 千葉駅前への建設を見直すチャンスがある場合 ① 千葉駅付近のビルのリニューアルが進んで、駅チカのみがにぎわっています。まちの活性化のためには、千葉駅直近ではなくちょっと距離のあるところに建設し、駅からそこまで楽しい街歩きができるような立地が望ましいと考えます。 もう一度見直すチャンスがあるなら、市役所の敷地、または中央コミュニティセンターの建て替えをして、新市民会館を立てたらよいのではないかと思います。 市役所前駅からもすぐで、電車での特便性もあるので、悪くはないとおもっています。そこから千葉駅まで、ショッピング食事が楽しめるような街に変えていくのが良いのではないかと考えます。	本施設を千葉駅前に整備することにより、市内外から多くの人が集い、交流する新たな都市活動を生み出すとともに、駅周辺の商業、観光、業務等の都市機能との相乗効果により、まちなかの回遊性向上やにぎわい創出につなげていく予定であり、「千葉駅周辺の活性化グランドデザイン」が目指すまちづくりの実現に寄与するものと考えております。	—
5	第1章	①なぜ千葉駅隣接地にしたのか？ 3候補地(駅隣接地・市役所隣接地・現在地)が検討されていた。この候補地の優劣の検討はされましたか？ ・建設事業費の試算・回遊性・駐車台数の確保などの比較表の作成はしましたか？	3候補地(JR千葉支社跡地・千葉中央コミュニティセンター・現在地)の検討については、令和3年11月策定の前基本計画において比較検討を行いました。 その後令和5年度に、JR東日本から新たな配棟案の提案があり、市有地での整備を含め、整備費の再精査と立地の利便性等の総合的な検討を行った結果、令和7年6月にJR千葉支社等開発区域の一部において単独棟での整備を行っていくことなどの方針を公表しました。	—
6	第1章	③駅隣接では、中心市街地の回遊は出来ず、まちづくりではマイナスではないか？	本施設を千葉駅前に整備することにより、市内外から多くの人が集い、交流する新たな都市活動を生み出すとともに、駅周辺の商業、観光、業務等の都市機能との相乗効果により、まちなかの回遊性向上やにぎわい創出につなげていく予定であり、「千葉駅周辺の活性化グランドデザイン」が目指すまちづくりの実現に寄与するものと考えております。	—
7	第1章	「エリア全体の回遊性・滞在性の向上を図るものです。」との記述だが、駅前に市民会館を整備して、駅からのアクセスがしやすいブリッジを設置（参照47P）となると、市民会館と駅ビルですべての事が足りてしまい、回遊性を図ることは難しいのではないか。回遊性についての考え方などを入れていただきたい。	上位計画である「ちば・まち・ビジョン」や「千葉駅周辺の活性化グランドデザイン」に示される通り、千葉駅周辺の整備はまちづくりにとって重要なエリアであり、本施設も魅力あるまちづくりに寄与する計画を目指します。 いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—
8	第1章	市民会館が千葉駅そばにできることは歓迎すべきですがそれが千葉駅周辺の賑わいにつながるかどうかが気になる点です。 私は転勤族で27年前に兵庫県から転勤し、現住所に家を建て現在に至っております。 転居して最初に驚いたことが「千葉駅周辺が夜になるとあまりに暗い、賑わいが無いこと」（昼間も夜ほどこでないが人通りが少ない印象）でした。「これが県都のメイン駅前か？！」大変ショックでした。 その後、ベリエが改装したりして多少は変わったと思いますが大きな変化は無いように感じます（ビックカメラができて期待しましたが、窓がほとんど無いビルのためかえて暗くなった印象です）。 同じ千葉県でも船橋や柏は駅前に商店街があり大いに賑わいを感じますが千葉駅にはそれがありません。大通りもお店等がほとんど無く、夜歩きたく無い場所です。マンションも夜を暗くしています（柏市長はそごう跡地はマンションにしないと宣言）。 新・市民会館計画では飲食店、販売店等が入らないようですが、そうなると会館でイベント、催し物が無い夜、大きな建物の市民会館があることかえて今以上に駅前を暗くし、賑わいを損ねるのは危惧します。本当はJRとの複合ビルがベストでしたが、単独でも複合的ビルのにして欲しいと思います。つまり飲食や販売関係の店舗を入れてほしいと。例えばイタリアンやフレンチのレストランとコンビニとか（少しおしゃれなレストランで食事をしてコンサートへ）二つが無理であればせめてどちらか一つでも切に願ひするものであります。駅前一等地をより明るくして県都の駅周辺らしい賑わいにつながるようにして欲しいものであります。	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—
9	第1章	8. 結び 千葉駅前のJR東日本跡地は、千葉市にとって極めて貴重な都市資産です。 この場所に整備する新しい市民会館を、従来型の公共文化施設として完結させるのではなく、文化芸術政策、都市政策、産業政策、観光政策、投資政策を横断する**「千葉市の都市戦略プロジェクト」**として位置付けることを提案します。 特に、Pophouseのアバターションに代表される世界水準の次世代型エンターテインメントや、日本が強みを持つ音楽、アニメ、ゲーム等のコンテンツを積極的に取り込み、AI・デジタル技術と融合することで、他都市にはない魅力を創出することが重要です。 その結果、千葉市外・海外から人を呼び込み、飲食、宿泊、商業、交通、観光、不動産等へ経済効果を波及させることができます。 人口減少社会において必要なのは、 「需要があるから施設をつくる」のではなく、「施設とコンテンツによって新しい需要をつくる」という発想です。 大学が知恵を出し、企業が技術・コンテンツ・事業力を提供し、官民が投資し、市民が参加する。そして海外の企業、クリエイター、投資家ともつながら。 そのような**「産・学・民・官によるグローバル共創型の文化・都市拠点」**を千葉駅前に創出することこそ、千葉市が掲げる「文化芸術の振興・創造」「文化芸術を通じた地域活性化」「持続可能な施設・管理運営」をより高い次元で実現し、他都市との差別化、新たな需要の創出、そして千葉市経済の持続的な成長につながるものと考えます。	新しい市民会館は、文化芸術活動を支える拠点であるだけでなく、新たな文化や地域の魅力を創造・発信する文化交流拠点として千葉都心の活性化や都市全体の魅力向上をけん引する役割を担っていく必要があり、企業や市民等が様々な形で関わり、施設をともにつくり、育てていくことは大切であるとと考えております。そのため、本計画では、市民意見やアンケート等をあらためて行い、市民活動などを含め必要な機能の整理を行ったほか、事業計画では、整備手法において民間の技術力やノウハウを効果的に活用した品質の確保等、運営手法では上記の考え方の実現に向け民間活力の導入を前提に検討を進めていく予定です。ご意見の趣旨は含まれていると考えておりますが、基本設計などを進める上では大切な内容と考えておりますので、今後の検討の参考とさせていただきます。	—

10	第1章	千葉駅を千葉都心として新たな文化交流拠点に対する意見を考えておりましたが、突然 千葉市に雨災害が発生しました。 これは、1982年の豪雨災害で、大阪の地下街・中之島周辺の“歴史的な大規模浸水”し長期間難儀をしたことを思い出します。 その時は、 ● 都心部の地下街が広範囲で浸水 ● 中之島周辺のビル地下も水没 ● 地下鉄御堂筋線・四つ橋線が長時間運休 ● 地下街の店舗が多数水没 という被害が発生して、これが 大阪市が本格的に地下放水路（なにわ大放水路）を計画する契機になりました。 千葉市も、2019年低気圧による記録的豪雨（10月25日）を契機に、千葉市雨水対策特別13地区を、選定し最優先で雨水対策をコツコツやられているようですが、千葉駅前の構造が昔から変え難いことが気になっていたが“千葉駅前の弱さ”が今回の豪雨でそれが一気に表面化したといえる。 これだけの施設が集まっているところを改良するのは大変なことだと言えますがこれまでやられているか分かりませんが一つの提案として駅前道路を改修されるので、おゆみ野の地形を利用した雨水排水方式を検討されるかどうか、地形(道路)の傾斜を利用する方式で、50mm/h以上の雨水は中央部を流れるせせらぎの緑道に流れ込む。 （以下略）	千葉豪雨を踏まえ、本計画の施設整備の考え方として、防災機能の記載を追記したところであり、ご意見については、基本設計等を進める中で、参考とさせていただきます。	—
11	第1章	○その他 回遊型客層を増やすには、星野リゾートのように回遊型を目指すとしたら音楽ホールだけでは客層の幅が狭いので、サードプレイスを併設するか、ちょっと遠いが、建て替えの市民会館跡地に新しいスタイルのサードプレイスを作る策もあるが遠すぎる。 （以下略）	大ホールはプロから市民利用まで多様な演目に対応する多機能ホールとして整備する予定であり、音楽以外の利用も想定しております。本施設の整備により、市内外から多くの人に利用していただき、近隣商業施設なども連携して回遊性を創出していく予定であり、ご意見の趣旨は含まれていると考えております。	—
12	第1章	この度の千葉市民会館建設においては建設予定地がJR千葉駅と隣接しているだけに、まさに「千葉駅を核とした千葉都心」として、「千葉駅周辺の活性化グランドデザイン」が実現されることを期待しています。ここに書き記された考えを是非とも実現して下さい。 この実現のためにはJR千葉駅の改札口のある3階のメイン通路をそのままの高さで新市民会館の同じ高さのフロアと接続することを切にお願いします。公道の上をまたぐこととなりますので行政側との折衝とともにJR千葉駅側の連携も必要です。この橋状歩道(プロムナード)によりJR千葉駅の乗降客はもとより、同駅東口からのエスカレータ利用者、同駅西口方面からの利用者、同駅北口に当たる千葉公園側からの利用者が地上階の一般道路を利用することなく、新市民会館へ直行出来るようになります。デザイン的には単なる立体橋ではなく、広い幅を有した、駅舎側は一見3階の延長フロアの一部のようなものであって欲しいものです。 従来のJR千葉駅は周辺のビルや会館、公園等に行くには、一旦地上階に降りて、更には地下道を通して目的の場所に行くようになっており、使い勝手のよくない駅の構造でした。このようなアクセスの不便さを解消するためにも是非とも橋上移動を可能にして欲しいものです。	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—
13	第2章	利用ジャンル別では、現市民会館の大ホール、小ホールとも、式典、講演などが、最多で、音楽関係が続きます。私は、観劇で都内の劇場に通いましたが、その周辺の様子も含めて各劇場の魅力は、演目の魅力と相まって印象深く思い出されます。新市民会館は、駅からの経路、エントランス等、イベントによっては、楽しみな気持ちが高まるような、（式典、講演などでは、厳粛な？）、工夫ができそうで、楽しみです。 会議室の利用は、少しずつ増えているようです。市民が集まることによってできていくことが、これからますます必要になると思います。駅直近の「市民会館」の役割として、ぜひ、使い勝手のよい、十分な数の会議室を、設けていただきたいと思います。	会議室については、文化芸術のための施設であることを踏まえ、必要最小限といたします。	—
14	第2章	・予約は市民利用を圧迫しない形で優先利用を求める意見に賛同します。又、使用料金は市民が利用しやすい設定を要望します。	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—
15	第2章	「千葉県文化会館は令和5（2023）年4月～令和7（2025）年7月まで大規模改修による休館のためデータなし」となっているが、令和7年8月から10か月ほどのデータを出して、リニューアルの効果を示して欲しい。	千葉市民会館及び周辺の文化施設のR4～R6利用率推移から、市内需要について考察するものであるため、原案通りの記載とします。	—
16	第2章	「市民利用を圧迫しない形で、興行利用誘致ができると良い。」「予約受付や抽選の手法を改善できると良い。」に関して、国際会議は3～5年前に開催場所を確定する必要があるが、会場が予約できないと他の都市に逃げられてしまう。国際会議の誘致にかかる実現可能性を高めるため、市及び財団と協議の上、時期・回数制限（利用が少ない時期かつ年3件まで等）を設け、優先的に期間前予約や仮押さえをさせていただけないか。	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—
17	第2章	外国人千葉市民も増えていることから、日本（千葉）の雰囲気がある壁やパーティション、ベンチなどがあると良い。例えばベンチについては、山武杉を活用したもの等があると良いのではないかな。 参考事例：中央公園プロムナードでの山武ベンチ・パークレット設置	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—
18	第2章	市民会館及び周辺の文化施設の使用状況について、なぜ県文化会館の休業期間中を含んだ3カ年のデータを使って分析したのでしょうか。文化会館が使えないために他の会館の利用率が上がることは容易に想像できます。よってこの分析には説得力が無いと思います。申し訳ないですが計画策定に対する姿勢に疑問を持ちます。	令和3年度に策定された「千葉市民会館再整備にかかる基本計画」において、県文化会館の大規模改修による休館以前の利用状況調査を実施しました。修正基本計画においては、コロナ禍を経た最新の状況把握を目的として、令和3年度～6年度の調査を行っています。	—
19	第2章	中分類の立地の項に千葉駅と接続していることが望ましい。（利用者意見、千葉市障害者社会参加推進協議会）との記載ありますが、私もかつて旧国鉄管理局の跡地に新市民会館の計画が公表された時に、市長への手紙を利用して駅舎と市民会館を同フロアで橋で繋いで欲しいとの要望書を書いた記憶があります。また一旦千葉駅側の計画が中止になって駐車場に変わった時に、丁度現在の市長選挙の時でしたが、現市長が街頭演説に見えた機会に「市民会館の建設場所はどうかになりますか？同じ場所であれば駅舎と橋で繋いで下さい」とお願いしたことがありました。また千葉市音楽協会の会長も知り合いましたから協会からも要望を出して欲しいとお願いしたことがありました。	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—
20	第2章	今の市民会館は遠くて高齢者の方には大変。	新・市民会館は駅前の土地への移転を計画しております。混雑緩和のためにデッキ、屋外空地などを適切な広さ・位置で配置することを検討し、市民の皆様にとって利便性の高い施設を目指してまいります。	—
21	第3章	駅近（アクセスが良い）はメリットではある。しかし大ホールでの公演終演後の混雑が見込まれるがどのように考えているのか。	施設整備では、施設利用者等の人の動線を考慮した施設配置や、駅から施設への設えとして3階デッキから接続するブリッジの設置を検討する予定です。また、今後検討する予定の運営計画においても、公演終了後のオペレーション等について検討する予定であり、ソフト・ハード両面から必要な対策等の検討を進めて参ります。	—

22	第3章	⑥ 文化芸術の育成のためには、地元の市民の応援、盛り上げが必要で。単に入れ物だけ立派でも質が伴わないといけないと思うので、計画段階からの、文化芸術に関心のある市民応援団を育成することも考えてみたらどうでしょうか？	頂いたご意見については、今後検討する予定の管理運営において、参考にさせていただきます。	—
23	第3章	・おおきな括りの基本理念は賛同します。交流性に視点を置いた施設整備により街の活性化を図ることに重きを置いたプランであり、「新しい広場」づくりと感じます。	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—
24	第3章	1) 千葉市の中心・交通の要所に280億円をかけて整備する上で、市民全体のものという観点で不足している。文化交流の拠点だけではなく、広く市民が利用でき交流できる場所にすべきである。	広く市民が利用・交流を可能とする施設を目指し、今後検討していきます。	—
25	第3章	「また、文化芸術の振興にとどまらず、」の後に「国際会議などMICEの開催等を通じて」を追加する。	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—
26	第3章	「文化芸術を通じたまち全体のにぎわい創出や」の後に「国際会議などMICEの開催等により」を追加する。	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—
27	第3章	1. 基本的な考え方 千葉市民会館の整備にあたっては、千葉市が掲げる以下の3つの基本コンセプト、 1.千葉市の文化芸術の振興・創造 2.文化芸術を通じた地域活性化 3.持続可能な施設・管理運営 を着実に実現するとともに、千葉駅前のJR東日本跡地という極めて希少性の高い立地を最大限に活用し、将来の千葉市の成長につながる都市戦略として位置付けることが重要であると考えます。 本事業を、従来型の公共文化施設の建替えにとどめるのではなく、民間企業の資金・技術・コンテンツ・運営ノウハウ、大学等の知見、市民の参加を組み合わせた「産・学・民・官」の共創型プロジェクトとし、文化芸術を核に新たな需要、産業、投資を創出する拠点とすることを提案します。 特に今後、日本は少子高齢化から本格的な人口減少社会に入り、国内需要の縮小が避けられませんが、国内需要だけを前提として公共施設を整備するのでは、長期的な持続可能性を確保することが難しくなります。 したがって、新しい千葉市民会館には、既存需要を受け止めるだけでなく、国内外から新たな人・企業・投資・コンテンツを呼び込み、自ら需要を創出する機能を持たせるべきです。 そのための基本的な考え方として、 Culture × Contents × Technology × Global × Finance × City を掲げ、文化芸術、コンテンツ、AI・デジタル技術、不動産、金融を融合した新しい都市型文化施設を目指すことを提案します。	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—
28	第3章	2. 他都市との差別化とグローバルな需要創出 全国各地でホール、アリーナ、文化施設等の整備が進む中、新しい千葉市民会館が競争力を持つためには、施設の規模や設備だけでなく、「そこで何を体験できるのか」という明確な差別化が必要です。 そのためには、国内の既存文化施設と同じ発想にとどまらず、世界で展開されている新しいエンターテインメントやコンテンツを積極的に取り入れ、さらに日本の文化・IP・技術と融合させることが重要です。 (中略) 新しい千葉市民会館において、このような世界水準のコンテンツを誘致・展開できる設備と運営体制を整えることで、他都市の文化施設との差別化を図ることができます。 さらに重要なのは、海外のコンテンツを単に日本に導入するだけでなく、日本が世界的な競争力を持つ音楽、アニメ、ゲーム、キャラクター等のIPと、海外のエンターテインメント企業が持つ制作・運営ノウハウ、さらにAI・映像・デジタル技術を組み合わせ、千葉で新しいコンテンツを共同開発し、それを世界市場へ発信する仕組みを構築することです。	新しい市民会館は、文化芸術活動を支える拠点であるだけでなく、新たな文化や地域の魅力を創造・発信する文化交流拠点として千葉都心の活性化や都市全体の魅力向上をけん引する役割を担っていく必要があり、企業や市民等が様々な形で関わり、施設をともにつくり、育てていくことは大切であると考えております。そのため、本計画では、市民意見やアンケート等をあらためて行い、市民活動などを含め必要な機能の整理を行ったほか、事業計画では、整備手法において民間の技術力やノウハウを効果的に活用した品質の確保等、運営手法では上記の考え方の実現に向け民間活力の導入を前提に検討を進めていく予定です。ご意見の趣旨は含まれていると考えておりますが、基本設計などを進める上では大切な内容と考えておりますので、今後の検討の参考とさせていただきます。	—
29	第3章	3. 文化芸術を起点とした千葉市経済への波及 文化芸術を通じた地域活性化を実現するうえでは、施設単体の利用率や収支だけで事業効果を評価するのではなく、千葉駅周辺、さらには千葉市全体への経済波及効果を重視すべきです。 (中略) 施設のKPIについても、単純な稼働率だけではなく、 ・来場者数 ・市外・海外からの来場者比率 ・周辺地域での消費額 ・宿泊者数 ・国際イベント開催数 ・新規コンテンツ創出数 ・民間企業・大学との共同プロジェクト数 ・地域への経済波及効果 などを設定し、文化施設が千葉市経済にどれだけ貢献しているかを継続的に評価する仕組みが必要です。 これは、千葉市が掲げる「文化芸術を通じた地域活性化」を、より具体的かつ持続的に実現するために重要であると考えます。		
30	第3章	4. 産・学・民・官による「共創社会」の実現 今後の人口減少社会では、行政だけで公共施設を整備・運営する従来型のモデルには限界があります。 今後は、それぞれの主体が強みを持ち寄って新しい価値を創出する「共創社会」の考え方が重要になります。 公共施設をグローバルに開放し、大学が知恵を出し、企業が技術と事業力を提供し、官民が投資し、市民が参加することによって、オープンイノベーションを実装し、都市の新たなアセットを共につくり、育てていく考え方です。 新しい千葉市民会館は、この「産・学・民・官」の共創を具現化する先進的なモデルケースとなり得ます。		

31	第3章	7. 提案する方向性 以上を踏まえ、新しい千葉市民会館について、千葉市が掲げる3つの基本コンセプトに、以下の視点を加えることを提案します。 ① Culture 千葉市の文化芸術の振興・創造 ② Community 文化芸術を通じた地域活性化、市民交流、経済波及 ③ Sustainability 民間活力を活用した持続可能な施設・管理運営 ④ Innovation 大学、企業、AI・先端技術を活用した新たな文化・産業の創造 ⑤ Global Entertainment Pophouseのアバターショー等に代表される世界水準のコンテンツを取り入れ、日本のIPと融合することによる他都市との差別化と需要創出 ⑥ Investment 官民の資金、国内外の投資資金を活用した新しい都市型投資資産（アセット）の形成 ⑦ Global 国内外から人、企業、クリエイター、コンテンツ、投資を呼び込み、千葉から世界市場へ新しい文化・ビジネスを発信		
32	第3章	千葉駅前という立地を生かし、人々が集い、交流し、新たな文化や地域の魅力を創造・発信する文化交流拠点として整備しますと記述されていますが、まさにその通りです。 多様な交流を生む場所であるためには、駅舎から市民会館への移動路の入り口に会館での催し物を紹介するための掲示板を設置して欲しいものです。これを見てちょっと会館を覗いてみるかという気持ちが湧いてくるでしょう。	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—
33	第4章	千葉駅周辺は、商業施設やオフィスが集積する一方で、市民や来訪者が気軽に「寝ころべる」ような芝生エリアや、憩いの場となる緑地・水辺空間がほとんど見当たらない状況です。これは、まちの魅力向上や市民交流、さらには防災避難・都市型観光振興の観点からも、大きな課題ではないかと考えます。 特に、真夏の熱中症リスクの低減やヒートアイランド現象の緩和といった環境面の効果も期待できることから、市民会館整備を契機に、こうした緑地・水辺空間の整備も併せて検討されることを強く望みます。 （中略） 市民会館整備を単なる文化施設の建て替えにとどめず、千葉駅周辺のまちづくり全体の転換点として位置づけ、緑地・水辺空間の創出にも積極的に取り組まれることを期待しております。	（仮称）新・市民会館は、千葉駅周辺のまちづくりにおいても重要な拠点と考えており、頂いたご意見については、今後の検討の参考にさせていただきます。	—
34	第4章	ホール建築設計段階において、(客席を通る)「花道」を設営できる設計を、ご一考ください。常設ではなく、必要に応じての設営設計です。世界に誇れる日本の伝統芸能にたいしてのご認識をお願いしたいところでありまして、本格的な歌舞伎使用の可能な舞台が実現しましたら、他都市より数段階上の文化都市としての千葉市の存在感を誇示できることになります。 人間にも、生まれ持った品格があるのと同様、品格を感じさせる街として日本の伝統芸能を「仮」ではなく本花道で、公演するべき時代かと思います。 昨年初春、愛知県の私立高校講堂で歌舞伎公演を終えたのち、設置した花道を卒業式まで残し、卒業生には一人ずつ花道を歩かせて卒業証書を受け取りに行かせたことは大きな話題となりました。まさに人生の門出を祝う花道だったようです。 諸外国からも尊敬され、他都市からも文化都市として数段階上の評価をされるよう設計段階で、上記の件につきましてご検討いただけましたら幸甚に存じます。	大ホールについては、多種多様な鑑賞ニーズに応え多くの鑑賞機会を提供するとともに文化芸術ジャンルに幅広く対応することをコンセプトとしており、頂いたご意見については、今後の検討の参考にさせていただきます。	—
35	第4章	新市民会館のプラン資料を読ませていただきました。とても良く練られた魅力的なプランですね。期待大です。 ・千葉駅西口のランドスケープデザイン 千葉駅は東西で性格の違う空気を感じます。東口は中央大通りや中央公園など地上を歩いて楽しむ「大地の街」、西口は3階改札から続くオープンデッキや広い空を感じられる「空の街」。この違いを活かした、それぞれが表玄関になるような「両表（りょうおもて）の街」を意識した景観設計をお願いしたいと思います。 西口には既存のセンシティや市民会館、将来建つであろうJRビルも含めたビル群のシルエットが創り出すスカイラインが、いわば“都市の山並み”となり広い空と調和した自然なリズムを醸し出す景観を期待します。中核となる市民会館には街並みと一体となるデザイン設計をお願いしたいです。	千葉市の中心地ならではの「シンボル」となる景観計画を検討していく予定であり、頂いたご意見については、今後の検討の参考にさせていただきます。	—
36	第4章	・回遊性 すでにプラン資料でいくらか言及されていますが、市民会館を中核として西口全体の回遊性を重視していただきたいです。千葉駅西口からペDESTリアンデッキで市民会館に繋がるようですが、単なる接続デッキでなくて歩くこと自体が楽しくなる空間を期待します。ウッド材や植栽、ベンチが散りばめられていて緩やかな曲線を描く歩行導線というのも豊かな空間の演出には有効かもしれません。 そして市民会館で完結するのではなく、会館の外周にオープンデッキを作り、そこを通過して千葉そごう方面や新JRビル方面にも繋がる空中回遊デッキが出来るなら、市民会館がハブとなり西口全体が歩いて楽しい魅力的な街になるように感じます。 オープンデッキには緩やかなアップダウンがあってもよいのかもしれませんが。（特に京成線を超えるあたり）	駅からアクセスしやすい明快な動線計画を検討するとともに、駅から施設へ誘う設えとして、3階デッキから接続するブリッジの設置を検討する予定であり、頂いたご意見については、今後の検討の参考にさせていただきます。	—

37	第4章	この場所は、千葉市内でも随一の鉄道の便が良い場所ですので、有効に活用するのが妥当だと考えます。 下記のような高層階の建物にして、収益化を目指すことが良策だと思います。 地下1-2階 駐車場 管理はタイムズなどの企業に任せて、カーシェア、月ぎめ駐車場、時間貸し駐車場として利用します。 1-5階 新千葉市民会館 大ホールも良いですが、仮想現実（VR）を楽しめる 比較的小規模なホールを複数用意すると良いと思います。スポーツの国際大会や大規模イベントのリモート会場としての活用を目指します。そのため、カフェやファーストフード店などをテナントとして誘致するスペースを3階（駅の改札口と平面にあたる）に設置します。 6-20階 市営住宅 賃貸専門の（高級）市営住宅として活用します。最短1週間、最長3年間の契約期間とし、更新可能とするのが良いと思います。都内および空港へのアクセスが良い（成田エクスプレスを活用した通勤も可能です）ことを活用して、海外からのビジネスマンや日本の企業のエグゼクティブの利用も期待できると思います。ハウスキーピングは、後述のホテルとの連携を可能にします。 21-23階 ホテル JR系列のホテルなどを誘致します。20室程度の比較的小規模な客室数とします。そのため、最上階のレストランは宿泊客の予約を優先しますがビジターも受け入れるようにします。市営住宅に短期滞在するビジネスマンなどへのランドリーサービスや朝食提供などもホテルが担当します。	事業計画における整備手法等の検討の中では、土地活用として、土地の高度利用や周辺まちづくりとの連携を検討することとしており、頂いたご意見については、今後の検討の参考にさせていただきます。	—
38	第4章	千葉県内にあまりない飲食店が入るとうれしいです。休けいスペースが広めだといいなと思います。	頂いたご意見については、今後の検討の参考にさせていただきます。	—
39	第4章	1.付帯設備に「大型打楽器」の追加 新施設においては、既存のピアノだけでなく、ティンパニ（5台）、マリンバ、シロフォン、ヴィブラフォン、チャイム、銅鑼、コンサートバスドラム、ドラムセットといった、個人や市民団体での所有・運搬が極めて困難な「大型・重量打楽器」を付帯設備（レンタル備品）として導入することを希望します。市民団体や学校が自前で運搬する際は、高額なトラック運搬費や人手が必要となり、活動の大きなハードルとなっています。 計画案にある「ステージと同等の広さを備えたリハーサル室」に常備されれば、施設の価値は単なる練習スタジオとは異なるレベルで高まります。同様の付帯設備を備えたホールは県内では「森のホール21（松戸市）」しかなく、実現すれば千葉駅直結という利便性も相まって、非常に価値が高く貴重なホールとなります。 【運用・コスト面の提案】 製品グレードについて：維持管理費の観点から海外製の最高級品である必要はありません。県内の業者が扱えてメンテナンスが容易な「ヤマハ」や「パール」といった国産の中級～上級グレードを導入することで、本番の質を担保しつつ初期費用・維持費を抑えられます。また、利用者が扱いに慣れている一般流通品にすることは、取り扱い不備による破損リスクの低減にも寄与します。 メンテナンスについて：利用料金を原資とし、県内の専門業者による「年3回 程度の定期メンテナンス」を行う運用を想定しています。 導入コストの低減案 楽器導入時にスポンサーを募集し、楽器本体や利用案内などに記載することで行政側の負担を軽減することも可能かと思います。 保管スペースや管理の手間は生じますが、市民の音楽活動のハードルを一挙に下げる画期的なシステムとなりますので、ぜひご検討ください。	頂いたご意見については、今後の参考にさせていただきます。	—
40	第4章	2.舞台裏・楽屋エリアにおける「階層ごとのトイレ設置」 大ホール舞台階下の3階にも楽屋を設置する計画とのことですので、ステージ衣装やドレスを着た出演者の動線に配慮し、楽屋があるすべての階層に適切な数のトイレを配置することが望ましいと考えます。 また舞台裏と同じ階層にトイレが設置してあることは、舞台転換中等に利用でき出演者の大きな安心材料となると思いますので、コストがかかることではありますが設計に配慮を頂きたいと思います。	頂いたご意見については、今後の参考にさせていただきます。	—
41	第4章	3 利用者責任による「事前搬入サービス」の整備 計画案では「大型トラック2台の駐車スペース」とありますが、限られた敷地内では、小ホールや他催事と重なった場合、本番当日の朝に複数団体のトラックによる搬入が集中し、搬入口の渋滞や周辺道路での待機による交通への悪影響が懸念されます。こういった事態を軽減するため、スペースの確保、スタッフの労働時間という大きな問題がありますが、舞台袖や搬入通路、リハーサル室等を活用し、利用者の責任（ホール側は免責条件）による、ホール稼働終了後の前日夜間や当日開館前からの「有料の事前搬入予約サービス」を提案します。 これにより搬入口や周辺道路の安全を確保しつつ出演者側は当日のスケジュールに余裕が生まれ、結果として警備コストを抑えられ安全かつスムーズな舞台運営が可能になるかと考えます。なお搬入時間は1時間程度を想定しています。	頂いたご意見については、今後の参考にさせていただきます。	—

42	第4章	新市民会館を、公演や催し物がある日に限らず、子育て世代を含む市民が日常的に利用できる施設として整備していただきたいです。 基本計画において、チケットの有無にかかわらず利用できる共有スペースや、託児スペース、授乳室、「子どもの居場所」となる開放スペースを計画している点ありがとうございます。 きばーには子どもが屋内で過ごせる施設がありますが、千葉駅付近には、親子が日常的に利用し、子どもが遊べる屋内施設が十分ではないと感じています。特に夏季の暑い日や雨天時には、子どもを屋外で安全に遊ばせることが難しく、公共交通機関でアクセスしやすい千葉駅前に、親子が安心して過ごせる屋内の居場所があると市民は便利と感じるのではないかと思います。 計画にある「子どもの居場所」が単なる待合いや自習スペースの一角にとどまらないよう、靴を脱いで過ごせる乳幼児スペース、絵本や知育玩具、小規模な室内遊具、子どもが一定程度体を動かせる空間、保護者が見守りながら休憩できる座席などを備えた、十分な広さの屋内スペースとして具体化していただくと大変嬉しいです。 また、公演開催時だけでなく、公演のない日にも無料または低廉な料金で利用でき、施設の開館時間中は原則として開放される運営を希望します。親子トイレ、おむつ替え設備、授乳室、ベビーカー置き場、飲食・休憩スペースについても、一体的に整備していただきたいです。 きばーと同様の施設を設けるというよりも、千葉駅前という交通便利性の高い場所で子育て家庭の選択肢を増やし、既存施設を補完する役割を新市民会館に持たせていただきたいです。（以下略）	施設内空間構成の中で、共有スペースについては、「誰もがふらっと訪れやすい、親しみ、ふれあいのある共用スペース」として、カフェ等の設置により日常利用が可能なスペースを提供することを検討するほか、子どもや乳幼児を連れた来館者について、託児スペースや授乳室を計画する予定であり、ご意見の趣旨を踏まえていると考えております。	—
43	第4章	③ 役割の一つである人々の交流の促進を図るには、建設するビルに、市民会館以外の機能を持たせる必要があると思います。 費用は高くつくと思いますが、ビルを高層化して、市民活動支援センター、男女共同参画センターを移転させることを提案します。 両方とも、現在地が、あまり便利なおところではありません。地方都市で、女性センターや、市民活動センターが駅前ビルに入っているところをよく見かけます。市のどこに住んでいても、勤めの帰りで、利用しやすいのが、市民活動を活発にし、横のつながりを広げるエネルギーになります。	本施設を千葉駅前に整備することにより、市内外から多くの人が集い、交流する新たな都市活動を生み出すとともに、駅周辺の商業、観光、業務等の都市機能との相乗効果により、まちなかの回遊性向上やにぎわい創出につなげていく予定であり、「千葉駅周辺の活性化グランドデザイン」が目指すまちづくりの実現に寄与するものと考えております。頂いたご提案内容等については、今後の検討の参考にさせていただきます。	—
44	第4章	④ 市民会館にはホールだけではなく、中小の会議室が欲しいです。様々なシンポジウム、全国大会を千葉市で行うような場合、大ホールのほかに中小の会議室が必要です。単にホールだけの市民会館では、使いにくいと考えられます。100席程度の会議室も必要です		—
45	第4章	⑤ 搬入車の出入り口はある程度の広さが必要と思われます。以前の計画では、搬入出のための道路が狭いのでは？という意見が出ていたように記憶しています。 新しい計画にはそのことも考慮した設計をしてほしいです。	施設計画において、大ホールの機能構成では、搬出入として、11トントラックの搬出入作業が可能な計画とすることとしており、頂いたご意見については、今後の検討の参考とさせていただきます。	—
46	第4章	⑦ トイレは、女性用を多めにつくってください。	ご意見のとおり、女性トイレの数への配慮は重要であると認識しており、第4章「2. 施設諸室の在り方」において大ホールの機能構成の中で、女性トイレの数には十分配慮することとしております。また、小ホールの機能構成の中でも以下の文を追記します。 ・特に、女性トイレの数には十分配慮する。	○
47	第4章	⑧ ユニバーサルデザインのトイレ、特に、大人のおむつ替えができるトイレを作ってください。 しかし、いろいろな機能を盛り込んだ多機能トイレは、とすると、かえって使いにくいトイレになる可能性があります。車いすの方でも、普通のトイレのドアの幅を少し広げるだけで使える場合があります。 障がいの特性に合わせて特色のあるトイレを何種類か作ることも考えてください。	施設計画の小ホールの機能構成の中で、多機能トイレを設けることとしており、頂いたご意見については、今後の検討の参考にさせていただきます。	—
48	第4章	⑨ 子ども連れでも利用できる親子室の用意をお願いします	施設計画の大ホールの機能構成の中で、親子席の設置を計画しており親子室も検討する予定ですが、これを明確にするため、記載を追記しました。	○
49	第4章	⑩ 耳の不自由な方に配慮した装置もそなえてください。	施設計画の大ホールの機能構成の中で、高齢者や体の不自由な方等の鑑賞への配慮を記載しており、頂いたご意見については、今後の検討の参考にさせていただきます。	—
50	第4章	⑪ 授乳室とおむつ替えの場所は別にしてください。授乳室は一旦入るとすぐにはあきません。おむつ替えは男性もしますので、男性トイレの中にも設置してください。	頂いたご意見については、今後の検討の参考にさせていただきます。	—
51	第4章	④市民会館は、大災害時の避難所の役割・機能は果たしていますか？ 設備・諸室の配慮はありますか？以前駅隣接の場合は、それが対処できる事言われていました。	ご意見のとおり、防災機能は重要であると認識しておりますので、第4章「4. 施設整備の考え方 ウ その他計画上の配慮事項 (6) 防災機能」に記載を追記しました。	○
52	第4章	⑤市民ニーズに一定程に応えられる必要最小限の会議室を設置する。とありますが諸室を何室確保されますか？ 千葉駅周辺の会議が出来る部屋が少なく、会議室ニーズは高い。貸室料も安価で願いたい。	会議室については、文化芸術のための施設であることを踏まえ、必要最小限といたします。部屋数・運営方法については、今後検討してまいります。	—
53	第4章	千葉駅直近に決まったことは、よかったと思います。現市民会館も市役所も、駅から距離があり、途中も特に見どころもないように思います。	駅前の好立地である敷地の利点を勘案し、より良い施設を目指します。	—
54	第4章	大ホールの収容人数1500席は現状より増えたとはいえ首都圏の他のホールと比べてやや少ないように感じられる。利便性が高いこの場所で行われるであろうコンサートの規模などを考えると2000席程度は確保したい。 JR側開発との兼ね合いが必要ではあるが、敷地周辺に屋外イベントや休息、飲食などが出来る充実したオープンスペースを設けて欲しい。イメージするのは東京国際フォーラムの広場だが、通り抜けが楽しい緑蔭のプロムナードとなることを希望したい。	ご意見として承ります。 機能性・快適性・回遊性などの観点からオープンスペースを検討していきたいと思います。	—
55	第4章	現在の千葉市民会館は敷地内禁煙となっており、受動喫煙防止の対策が行われております。 千葉市民会館は多くの方が利用し、学生の発表にも利用されます。 子供が利用する場所については教育の場としてもふさわしい環境とするため、引き続き敷地内禁煙となることが求められます。 新・千葉市民会館については、喫煙所を設置することなく継続して敷地内禁煙としていただくようお願いいたします。	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—

56	第4章	アクセスも良く大変魅力的なプランですが、席数が1500だと、何を目的に作るのかが不明瞭です。 このままではオープンしても、利用率が極端に低く、ペイできない可能性が高そうです。 他に小規模の会議室や中ホールを併設することで施設全体の利用率向上も期待できます。 大きな利益を生みそうな大きな会議や全国ツアーを実施している音楽イベントなどを誘致するのであれば、 大ホールは5000名程度、最低でも3000名のキャパが必要なのではないかと思われます。 (有名な音楽イベントが、茨城や埼玉さえ来るのに、千葉を素通りするのをとても悔しく見ています) メッセなどと異なり、ちゃんと音楽や講演を楽しむホールが千葉市になく大変残念です、せっかくの予算を組んでの企画でございます 開府700年の自負を持って、文化的中心となるべき施設を構築されることを希望します。	大ホールは、プロから市民利用まで多様な演目が高水準に対応する多機能ホールとして1,500席程度の計画とします。 いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—
57	第4章	【意見】 第4章 施設計画 4. 施設整備の考え方 ア 配置（ゾーニング）・動線計画 の3ボツ目に、以下を追加 「駅から施設へ誘う設えとして、3階デッキから接続するブリッジの設置を検討します。さらに、JR千葉支社跡地等開発区域で新設される商業施設とブリッジで接続することを検討します。」 【理由】 新市民会館の回遊性、にぎわいをさらに向上させるため。	回遊性を高める、にぎわいを向上させるデッキの設置は、今後検討していきます。	—
58	第4章	新しい千葉市民会館、期待しております。 当初計画のJR東日本による複合施設に入るプランを改め単独施設としての計画になりましたが、新市民会館の運営費確保、千葉駅南口の賑わい創出の観点から、メイン施設である大ホール上部または隣地にオフィス、ホテル等を併設することを提案します。 新市民会館は千葉駅至近の立地であることを活かし、賃貸オフィス(一部、市の施設が入ってもよいと思います)やホテル(JR東日本系のホテルに賃貸、フィットネス・ジャグジー等のリラクゼーション施設含む)を大ホール上部または隣地に設けてはいかがでしょうか。 ※池袋 東京芸術劇場＋メトロポリタンプラザオフィスタワーや渋谷 東急文化村再開発をイメージしました 民間ディベロッパー的な発想ですが、賃貸収入を確保することで新市民会館の将来に亘る運営費や改修費を確保できるばかりか、催事のない日でも賑わい創出を期待できます。 千葉駅直結という立地メリットを活かし、新市民会館が単なるコンサートホールのみならず千葉都心の更なる賑わい創出の拠点となることを期待しております。	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—
59	第4章	会議室が減らされてしまうことを危惧しています。 特別会議室2のような100人規模の会議室 会議室1〜4のような60人規模の会議室×2個として使える会議室は作っていただきたいです。 (多目的室の場合、平面で動かせる長机がたくさんないと将棋大会は開けません) 将棋は机に2人が向かい合っています。将棋以外にも囲碁やチェスなど対面ボードゲームは同じです。 今のように机や椅子は動かせること、また足隠しの板がないことも大切です。そのような机を会議室には用意していただきたいです。 小ホールにも、200人分ほど机を用意していただきたいです。そうすれば、大規模な将棋大会の運営できますし、他の団体も使い方が広がると思います。	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—
60	第4章	・1500席案にセリフが届かない不安を感じます。演劇専用劇場をつくれば、音楽公演にも対応できます。 是非、設計には演劇関係の専門家を入れてください。	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—
61	第4章	・設置は必要最小限の案 市民が日常的に使用する会議室がスペース的にとれないということでしょうか。 市民活動に支障が起きると思います。洒落た施設は必要なく機能的な会議室を設置してください。	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—
62	第4章	・リハーサル室は道具の建て込みなど不要、また小ホールも同様に小規模な設営と思われ1F・2Fに置くことは不要と思います。むしろ、大ホールへの搬入搬出を考慮すべきであり、楽屋・客席を搬入口に隣接させることが望ましいと思います。	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—
63	第4章	大規模公演終了後の人流を想定した複数の動線は重要です。	混雑緩和のためにホワイエやロビー、デッキ、屋外空地などを適切に配置します。	—
64	第4章	トイレについては独立した項目がなく「ホワイエ」にまとまっているが、利用者の関心が高く、女性用を多くしてほしい、男女の仕切りを可動式のトイレにして欲しいなどの希望もあることから、1つの項目にして、書き込む必要があるのではないかと。	ご意見のとおり、女性トイレの数への配慮は重要であると認識しており、第4章「2. 施設諸室の在り方」において大ホールの機能構成の中で、女性トイレの数には十分配慮することとしております。また、小ホールの機能構成の中でも以下の文を追記します。 ・特に、女性トイレの数には十分配慮する。	○
65	第4章	災害時の避難施設として使用することを前提に災害用防災倉庫を設置や、物資供給などの被災者支援体制の面で近隣商業施設との連携を検討します。 との記述があるが、8月13日の豪雨による鉄道不通で、千葉駅では帰宅困難者が多く発生した。多額の整備費用について市民・県民の理解を得るためにも、市民会館の計画は「防災機能を高めるためにも不可欠」として、そのあり方を具体的に示していただきたい。	ご意見のとおり、防災機能は重要であると認識しておりますので、第4章「4. 施設整備の考え方 ウ その他計画上の配慮事項 (6) 防災機能」に記載を追記しました。	○
66	第4章	「市民のニーズに一定程度応えられる必要最小限の会議室を設置」とあり、利便性のよい会館だけに、『最小限』は残念です。p.43で、小ホールについて、『～市民活動を活性化する、利用しやすい発表・鑑賞の場～』とあります。市民が、発表・鑑賞を企画するにあたっては、その計画、準備に、会議室は必須だと思います。ぜひ、十分な数の会議室の設置を願います。また、公民館やコミュニティセンターの部屋の中で、声が反響して話し合いに不都合な場合があるので、その点を考慮して設計、設置をお願いしたいと思います。	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—

67	第4章	(1) 舞台機構の簡易化と「1500 席規模の音楽専用大ホール・複数の練習スタジオ」の導入 現状計画への課題感：大ホールにおける演劇利用の割合は年間全体の約8.0%(P.24)にとどまり ず。この利用実績に対し、本格的な奈落、フライタワー等の大規模な舞台機構を整備すること は、整備費および維持管理費の面で過大な投資となる懸念があります。 見直しのご提案：大ホールの舞台機構を簡易な仕様へと見直し、それにより創出される床面積お よび予算を「1500 席規模の音楽専用大ホール」ならびに「リハーサル室・複数の練習スタジ オ」の設置に充当することを強く提案いたします。また、小ホールにつきましては「500 席規模 の演劇に重点を置いた専用ホール」として、簡易な舞台装置・機構を設置することを望みます。	いただいたご意見は参考にさせていただきます。	—
68	第4章	(2) 周辺文化施設との重複回避と差別化 近隣エリアには既に以下のホールが存在しており、同様の仕様で整備した場合は機能が競合しま す。 音響特化型の希少性：県内において1500 席以上の施設は千葉県文化会館（1,790 席）を含む4 カ 所であり、市内の中規模施設としては美浜文化ホール（152 席）や青葉の森公園芸術文化ホール （885 席）が存在します。なお、パイプオルガンを備えていた「習志野文化ホール（1,475 席）」や「千葉市文化交流プラザ（719 席）」が閉館・廃止された現在、音響性能に優れた大規 模音楽ホールへの需要は極めて高まっています。中ホール規模の競合：近隣には千葉市文化セン ター（497 席）や千葉県教育会館（504 席）などの同等規模施設が存在するため、本施設ならで はの利用ジャンルや特性の明確な差別化・特定が必要です。	いただいたご意見は参考にさせていただきます。	—
69	第4章	(3) コンクールや演奏大会の誘致による集客と経済波及効果 近年、アニメ「青のオーケストラ」等の影響もあり、オーケストラ、吹奏楽、合唱などの音楽活 動への関心が高まっています。優れた音響環境を備えた1500 席規模の大ホールを整備すること で、各種コンクールや大会の誘致が可能となり、県内外からの集客や交流人口の拡大が期待でき ます。	大ホールは良質な音の響きを得られる計画とします。	—
70	第4章	JR 千葉駅、千葉都市モノレール、京成電鉄の各線および周辺商業施設とのスムーズな連携に向 け、確実な歩行者動線の整備を求めます。 3 階エントランス：JR 千葉駅と直結する間口の広いベデストリアンデッキを設置し、混雑緩和と 安全な主動線を確保すること。4 階ホワイエ：千葉都市モノレールからのアクセス性を高める直 接接続ルートを確認すること。全天候型・1 階へのアプローチ：建物内部を通過せず4 階から地 上1 階へ直通で降りられる屋根付き自由通路（全天候型アプローチ）を整備し、京成電鉄および 周辺大型商業施設への回遊性を向上させること。	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—
71	第4章	帰宅困難者支援拠点の確保：災害時において千葉駅周辺の帰宅困難者を受け入れるため、エント ランスホール、多機能室等を柔軟に一時滞在スペースとして活用できる設備・運用計画とすること。 地下ピットを活用した雨水一時貯留施設の設置：近年の大型台風や局地的大雨に伴う周辺道路等 の冠水リスクに対応するため、地下ピットを利用した「雨水一時貯留施設」を新設し、施設およ び周辺地域の防災力を高めること。	ご意見のとおり、防災機能は重要であると認識しておりますので、第4章 「4. 施設整備の考え方 ウ その他計画上の配慮事項 （6）防災機能」 に記載を追記しました。	○
72	第4章	地域冷暖房の導入：省エネルギー化とCO2 排出削減、および熱源設備による騒音・振動源の削 減を図るため、「千葉新町地域」の地域冷暖房システム（DHC）を活用すること。 高度な防音・防振対策の導入：JR 線および京成線に挟まれた立地環境、ならびに館内機械室か らの振動・騒音に対応するため、地下総ピット構造等による物理的隔離・振動減衰に加え、浮き 床構造（ボックス・イン・ボックス構造）を採用し、構造伝播音（振動）を徹底的に遮断するこ と。これにより、クラシック演奏等の繊細な音響に対応しうる室内の静粛性（規定値：NC-20 以下）を確実に確保すること。	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—
73	第4章	2）共有スペースをもっと市民が活用できるようにする。特に駅とのアクセスのある3Fは観客 以外の市民に開かれ、集いや千葉市の広報などにも使える場所にする。具体的には3Fの事務室 および楽屋は縮小あるいは1F、2Fに移してして市民が使える空間とする。（2Fの会議室は必 要ではあるが限られた人しか使えない） 楽屋がこの階に2つあるがこの大きさが必要か？ （1、2Fにもリハーサル室と楽屋がある） *現在中央公園そばになどある市民活動支援室は手狭でなかなか使えない。同等のものを事務室 あるいは楽屋2の部分に設置してほしい	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—
74	第4章	3）3Fの多機能室の設計内容と利用方法が良く分からない。 階段、エスカレーター、エレ ベーター、の位置は？	小規模の練習、研修、セミナー、自習など、市民が日常的に使用できる多機 能室を想定しております。階段、エスカレーター、エレベーターの位置は今後 検討していきます。	—
75	第4章	4）災害時の帰宅困難者がこの建物を使えるようにしてほしい。	災害時の避難施設として使用することを前提とし、今後の設計段階で検討し てまいります。	—
76	第4章	駅に近い場所であり、今後ずっと使い続けて行く建物であるのに、5階建てというのはあまりに もったいない。 防災センターや市民活動の拠点男女共同参画センター、子育て支援センター、障がい者基幹相談 支援センター、災害時の避難所など役に立つ施設を併設すべきと思います。	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—
77	第4章	MICEでの利用を促進するために、100～200席収容できるホールが2室程度あると良いと考 える。なお、劇場型ではなく発表会や会議、展示など幅広い用途に対応できる平土間型のフラット なホールで良い。 一般的な学会のプログラムについては、基調講演・特別講演・会長講演等（500～1,500名/大 ホール）、分科会（100～300名/小ホール＋2部屋程度）、ポスター会場（ホワイエ等）などが 必要になるため。	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—

78	第4章	【意見】 計画案において、災害時の避難施設としての活用や、防災備蓄倉庫の設置、近隣施設との連携が明記されている点に賛同いたします。本施設が千葉県の主要ターミナル駅に隣接する立地特性も踏まえ、避難者の安全と健康状態を確実に維持できる防災拠点となるよう、停電時にもエネルギー供給が途切れない「自立・分散型エネルギーシステム」の導入を計画に明記いただくよう要望いたします。 【理由・提案】 「千葉市国土強靱化地域計画」においても自立・分散型エネルギーシステムの導入が掲げられている通り、市民の安全を確保する避難施設には、広域停電時でもエネルギー供給が途切れない「レジリエンスの向上」が不可欠です。地震等の災害に極めて強い中圧ガス導管網を活用し、停電対応型のコージェネレーションシステム（CGS）やガスヒートポンプエアコン（GHP）など、自立分散型エネルギーの導入をご検討ください。 これにより、災害時でも照明や空調、スマートフォンの充電等が維持でき、市民の安全・安心を支える確実なレジリエンス強化が図れる避難拠点となると考えます。	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—
79	第4章	【意見】 新・市民会館におけるZEB化の推進や省エネ・再エネの活用、LED化など、環境にやさしい施設を目指す方針に賛同いたします。その確実な実現と将来のゼロカーボンシティを牽引するため、高効率なガス空調および、廃熱を有効活用するガスコージェネレーションシステムの導入によって、環境性と防災性を両立する施設とすることを要望いたします。 【理由・提案】 「千葉市地球温暖化対策実行計画」が目指す脱炭素社会の実現に向けて、ホールの光熱費において大きな割合を占める空調・照明の最適化は重要です。発電時の廃熱を空調や給湯に無駄なく利用できるガスコージェネレーションシステム（CGS）や、高効率なガス空調（GHP）の導入は、系統電力のピークの負荷を抑えつつ、大幅な省エネルギーとCO2削減を実現し、ZEBに大きく寄与します。さらにこれらのシステムは、停電時の自立電源・熱源としても機能するため、平常時の「高い環境性」と有事の「確実な防災性能」を両立する最適なソリューションと考えます。	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—
80	第4章	5. AI・先端技術を前提とした施設整備 新しい千葉市民会館は、完成後数十年間にわたって利用される施設です。そのため、現在の公演形態や施設需要だけを前提に設計するのではなく、AIやデジタル技術の進化に柔軟に対応できる施設とする必要があります。 例えば、日本の最先端技術であるNTTのIOWN、Canonの自由視点映像、YAMAHAのVocaloidなど活用し、「未来を創造する市民会館」を目指します。そのために、 ・AIを活用した施設運営・需要予測 ・多言語対応 ・デジタルチケット・顧客管理 ・高度な映像・音響・照明設備 ・アバターショーへの対応 ・XR・AR・VR等を活用した公演（例： ・デジタルコンテンツ制作・配信設備 ・海外向けライブ配信 ・AIを活用した文化芸術制作 等を実現できるインフラを当初から備えることが重要です。 目指すべきは、「完成した時点で最新の施設」ではなく、将来の技術革新や新しいエンターテインメントにも対応し続けられる施設です。未完成のまま完成させること。 これにより、文化芸術の振興だけでなく、新しいコンテンツ産業、デジタル産業、スタートアップ、人材育成等への波及も期待できます。	新しい市民会館は、文化芸術活動を支える拠点であるだけでなく、新たな文化や地域の魅力を創造・発信する文化交流拠点として千葉都心の活性化や都市全体の魅力向上をけん引する役割を担っていく必要があり、企業や市民等が様々な形で関わり、施設をともにつくり、育てていくことは大切であると考えております。そのため、本計画では、市民意見やアンケート等をあらためて行い、市民活動などを含め必要な機能の整理を行ったほか、事業計画では、整備手法において民間の技術力やノウハウを効果的に活用した品質の確保等、運営手法では上記の考え方の実現に向け民間活力の導入を前提に検討を進めていく予定です。ご意見の趣旨は含まれていると考えておりますが、基本設計などを進める上では大切な内容と考えておりますので、今後の検討の参考とさせていただきます。	—
81	第4章	新しい施設では、施設全体をユニバーサルな施設にしていきたいと思います。年齢性別障害の有無に関わらず、みんなが使いやすい形をお願いします。	設計段階で検討していきます。	—
82	第4章	・駐車場について 雨の日でも車いすやベビーカー利用者がぬれずに駐車場から館内まで入れる千葉市役所の駐車場のようにしてください。	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—
83	第4章	・観客席について 車椅子用の観客席は、見やすく出入りしやすい位置と通路の幅にしてください。混雑した館内を車椅子で移動するのは大変なので、車椅子用のトイレは観客席と近いところにもほしいです。	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—
84	第4章	・エレベーターについて ストレッチャー移動できる広さのものを設置してほしいです。エレベーター内に鏡もつけてほしいです（車椅子では、後ろを振り向くのが大変なので） 館内のエレベーターは開閉ボタンなど、仕様を統一してほしいです。目が見えない方によると、ボタンの形状と位置が同じ施設内で統一していると助かるとのことでした。	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—

85	第4章	・トイレについて 例えば、代々木の国立競技場のような車椅子や異性介助、性別違和等でも安心して使える多機能トイレが複数ほしいです。フロアの一つでは競合してしまいます。 ①機能の分散 厚労省もトイレの機能は分散させる指針を出していますが、多機能トイレ1つにあらゆる機能も備えるのではなく、オスメイトは普通の個室にもあり、性別関係なく使えるトイレ（コンビニのトイレのようなイメージ）があり、ベビーシートはトイレの共用部にもあり、車椅子用には広いトイレがあると、必要な人同士競合しないで済みます。 ②ユニバーサルシート 大人もおもつ替え等で使えるユニバーサルシート（ベット）も必ず透けて欲しいです。ベビーシートでは代用できません。ユニバーサルシートがないために、施設利用を諦めた友人もいます。 ③広さ 車椅子利用者にとっては広さは車椅子から乗り換えるのでユニバーサルシートを広げた後、車いすが個室内でいられ回転できる広さや介助者が抱きかかえて車椅子からシートに移す作業をする空間が必要ですが、シートを広げたら車いすが入らない、とか、当事者の実情と乖離した健常者の想像の域を超えない施設があります。 ④背もたれ 便座に背もたれがあると体幹保持が難しい人も使いやすいです。 施設を作った後は改修はなかなかできないので、多様な当事者に聞き取りをしたり、実際に良い例を調べたり、リクシルやTOTOなどのメーカー内のバリアフリーに関する専門部署の専門家に助言を受けながら計画して頂きたいです。 （以下略）	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—
86	第4章	・階段 ①手すり 手すりも両サイドにほしいです。歩けるけれど、階段は苦手で手すりが必要な障害がある人もまわりに多いです。 ②段差の気づきやすさ 階段の段差のコントラストが明確だったり、端に色がついていたりすると、段差がわかりやすく、安全性が高まり助かります。	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—
87	第4章	共有スペースにカフェ設置を検討するとあり、事前の市民意見聴取でも同様の意見があがっていますが、JR千葉駅近隣にはカフェがとてたくさんあるので、無理に施設内にカフェを設置する必要は無いと考えます（美浜文化ホールにあるカフェコーナーもそれほど活用されていない印象があります）。ちょっとした打合せに使える商談スペース（＋フリーwifi）のような場所と、紙コップ飲み物の自動販売機があれば十分と思います。	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—
88	第4章	（4）緑化計画の緑化率について、20%のうち、10%は地上部の樹木緑化を目指すとのことですが、樹種によっては成長後に阻害樹になる可能性もあるので慎重に検討してほしいと思います。地上部の樹木緑化に必ずしもこだわらなくても、都市部に不足している「木陰」の役割を果たせる緑化であればよいと考えます。	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—
89	第4章	（6）防災機能 について、今回の令和8年千葉豪雨の被害状況を見ても、帰宅困難者の受け入れ施設が駅前に増えることは市民にとっても大きな利点です。必要な機能を十分検討していただきたいです。特に障がい者の受け入れもできるように配慮していただきたいと思います。	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—
90	第4章	（7）環境配慮について、トイレの洗浄水や緑化植物の育成に「雨水」を活用する仕組みをぜひ取り入れていただきたいと思います。少しでも雨水が貯留できる機能があれば内水氾濫防止に役立ちます。	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—
91	第4章	（8）ユニバーサルデザイン・バリアフリー について、設計の前にぜひ当事者団体から意見をもう一度細かく聞いて、意向を反映していただきたいと思います。	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—
92	第4章	新千葉市民会館整備にかかる基本計画の前の策定から約5年を経過して社会の情勢は大きく変わった。 今回の計画は欲張りで絳花なすぎて具体的な内容が書かれておらず千葉らしさが無い。 （中略） ※ 建築物についての意見 ○ホール外観の色彩 これは立地が特殊なので特に工夫が必要、美浜文化ホールのモノトーンのダークな色は街を壊すし、道路を隔てたマンションの住民に非常に苦痛を与えている。また千葉市の色彩のガイドラインにも抵触する可能性がある。 新百合ヶ丘 駅前の大壁面は工夫を凝らしたが建物に光と影がないため、失敗と話題となった。 参考に 掌のいろに近い色相や明度が心理的にも健康的だと云われます。 ・センシティ広場から見上げるモノレールのカーブして行く景観は素晴らしい。これを生かした景観、インスタ映えるものが出来れば一躍有名になる。 作家としても面白いのではないと思う。	ご意見については、今後、基本設計等を進める中で、参考とさせていただきます。	—
93	第4章	○ 耐久性と存在感 建築物として考えた場合、まず第一に県立文化会館のように耐久性があること、税法上の耐用年数と建築物の寿命は異なる。 80年以上は優に持つので、今のようなコスト上昇時代でも途中で規格を下げ安物にしないで、予算がオーバーしてもコストをかけてもコスパを取るべきだ。 以前の意見募集でJRの建物と同居案に賛成したのは、JRは修理・修繕のプロなので長持ちさせる技術を確立しているからだ。	施設整備に当たっては、民間の技術力やノウハウを活用しながら、品質の確保等を行う予定であり、ご意見については、今後の検討の参考とさせていただきます。	—
94	第4章	○ 音響設備・壁面設計 昔はPRO 設計者の作品が取り沙汰された時代があったが、予算や楽器などの汎用性を考えると商品として実績のある カ)ヤマハが実利的といえる。 今回の文化会館の様に利用用途の多様化した現在では、「込み価格で事務所にまかせた空間設計」よりも、別途多少コストが掛かって「メーカーが長年実績を積み上げた標準ソリューション」のほうが、 予算・汎用性・維持管理の観点で千葉市にとって合理的だ。その方が長年良い音を聞けなかった、市民や児童生徒のためになります。	施設整備に当たっては、民間の技術力やノウハウを活用しながら、品質の確保等を行う予定であり、ご意見については、今後の検討の参考とさせていただきます。	—

95	第4章	○ホールの定員 7月の頭に県の文化会館の再開で、音大のウィンド・オーケストラの演奏会が県の教育委員会の主催でありました。 音大側は一階席が一杯になるのは無理ではと予想したが1700席以上の応募があったと言います。千葉の生徒は、音に接する機会が少ない様な感触でした。 オープンハウスでも言われていましたが、興行としては500席では採算がとれない理由の1つが、指揮者が入ると最近では1回、100万経費が増えるからだと言います。市民や生徒が使うには500席は必要です。汎用性の高いヤマハの音響パネル・調音パネルを使えばそれなりものが出来てコミコンなどより優れた音が楽しめる。	施設整備に当たっては、民間の技術力やノウハウを活用しながら、品質の確保等を行う予定であり、ご意見については、今後の検討の参考とさせていただきます。	—
96	第4章	◎現在の市会館にかけているバリアフリーの観点を重視する。車いすの観覧席の増加が必要と思う。 トイレについても数が圧倒的に不足しているので、とくに女性用については十分な数を確保してほしい。	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—
97	第4章	◎令和8年8月千葉豪雨でも帰宅困難者がかなり出たが、駅前という地の利を活かして、防災拠点としての機能を持たせることが必要と思うがどうか？	災害時の避難施設として使用することを前提とし、今後の設計段階で検討してまいります。	○
98	第4章	駐車場に関して十分議論されていることと思います。計画本文の記載に沿ってお尋ねいたします。 付属義務台数：この規模、立地から確保すべき付属義務台数を示してください。基本計画の段階であっても概数は示すべきではないか。 緩和措置の活用：わたしたちにも少しその意味を教えてください。基本計画であれば詳しい説明があってよい。 様々な手法：例示してほしい。他市の類似の施設ではどのような工夫がありましたか。取り入れたい手法は見つかりましたか。 適切に確保：目標台数はありますか。難しい問題ですが、敷地内に確保できる台数の最大値を既に見据えていると思います。 その他：地階は47pに示されていません。駐車場も検討されたと思いますが、如何だったでしょうか。	・付置義務台数については、必要台数以上を取ることを前提に、その台数及び位置については、今後の検討になります。 ・緩和措置の活用等については、具体的には今後の検討になります。 ・駐車スペースについては、車いす用及び出演者、管理者用は敷地内に確保することを目指しますが、一般車を含めた駐車スペースの敷地内確保については今後の検討になります。 なお、スムーズな搬入が行えるような搬入スペースの確保もあわせて検討していきます。	—
99	第4章	・千鳥配置、列前後幅、ぜひよろしく願います。 ・車いす席を一番後ろ以外にも願います。 ・親子席 作る場合、障害児の大きい車いすの動線も配慮下さい。また、この規模のホールでの親子席、視認できるかなど確認ください。	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—
100	第4章	・商業公演の際、物販の動線も検討ください。 ・トイレについては数ですが、「空いているか」が分かりやすい仕様にしてください。空いていると上についた色板がみえる、など。 ・トイレ、入口と出口が別のタイプを検討ください。 ・ロッカーは厳しいかと思います。	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—
101	第4章	・災害用防災倉庫、お願いいたします。また、共有スペースや諸室について、一時滞在所になる前提での運用計画の事前設定をお願いします。 ・共有スペースについて、計画に入っていますが、市民活動の発表の場にできるような運用をぜひお願いします。 ・カフェはいいとは思いますが、どちらかというと別建物、市民会館周辺に誘致することを目指した方が回遊性の面でも、市民会館内空間の活かし方としてもいいと思います。ちょっと持ってきたお菓子を座って子どもに食べさせたり、子どもたち若者はじめ来場者がその場で何も買わずとも持ってきた水筒を飲んだりでほととできるベンチやスペース確保を優先していただきたいと思います。 市民会館ができると確定すれば、自然に完成までにカフェ系が増えるのではないかと思います。	災害時の避難施設として使用することを前提とし、今後の設計段階で検討してまいります。 運用方法について、今後検討してまいります。	—
102	第4章	・あまり奇をてらわず、デザインに力を入れすぎないようにしてほしいと思います。 ・個人的にのっぺりとしたものにして、プロジェクトマッピングに光を当てる壁として貸し出しでお金をとるかいいかがでしょう。 ・屋上を利用した緑化や太陽光発電など、ご予定しているようですが、ぜひお願いいたします。	デザイン等については今後変更の可能性があります、視覚的に理解しやすいよう第4章「3. 空間構成イメージ」「イ 施設イメージ図」を更新しました。	○
103	第4章	・千葉駅とつながりデッキ、とてもいいと思います。雨が降りこまないくらい、デッキより幅の広い屋根の設置でもできればお願いしたいです。地上についても、千葉駅間・そごう間、屋根があるといいと思います	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—
104	第4章	・ラストの断面的構成、よいと思います！	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—
105	第4章	2. 親子席について ・生涯学習センターの大ホール（300名）に設置されているが、その稼働数はいかがでしょうか。1500名と広いホールになるので、最後方にはなと思うが、なるべく見やすいところに作ってほしい。 ・300名定員の小ホールに作る方がよいのでは。 ・ベビーカーや、障害を持っていて車いすで来場する人のためのベア席の利用もできるようにできるか。	施設計画の大ホールの機能構成の中で、親子席の設置を計画しており親子室も検討する予定でありますが、これを明確にするため、記載を追記しました。	○
106	第4章	3. ホワイエについて ・大・小ホールのホワイエでは、物販なども可能にできるとよいと思う。	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—
107	第4章	4. 会議室・多機能室 ・会議室は6室はほしい。 ・多機能室（スタジオ）については、ガラス張りは全面のことではないと思うが、開放的ということにこだわることはない。	会議室については、文化芸術のための施設であることを踏まえ、必要最小限といたします。	—
108	第4章	5. 災害用防災倉庫 ・ぜひ設置してください。	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—
109	第4章	6. 自転車置き場 ・周辺の自転車駐輪場を利用してもらうこととしてよいと考えます。	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—

110	第4章	7. 共有スペース ・日常利用が可能なスペースというありがたいのだが、欲張りすぎではいけないと思う。周辺のカフェなどの案内をするのがよいと思う。新市民会館が建設されるということで、出延計画する企業もあるのではないかと。 ・授乳室あるといいですね。託児スペースも、どの程度のひろさにするか、生涯学習センターくらい？ ・持ってきた軽食や飲み物を食べられるスペースとしても使えるところがあるとよいと思う。	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—
111	第4章	配置(ゾーニング)・動線計画の項で記載してあることに私も同意いたします。景観計画の中では現在の駅舎の3階の南側には広い歩道空間があり、時々植木鉢や植栽が並ぶことがあります。今度はこの向かい側に市民会館が出来ることになりますので、このスペースは市民会館の景観の一部として重要性を持つことになります。この場所の利用については駅側との折衝をお願いしたいものです。	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—
112	第4章	・スロープの角度。車椅子に乗車をしている方の中には握力低下の方もおられます。単独で来場をされる方のために、介助の手押しがなくても「お一人で登っていける傾斜」のスロープをお願いします	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—
113	第4章	・現在会場の車椅子トイレは、スロープを降りたエントランスにあります。車椅子乗車の家族も目が届く範囲で、一般の方用トイレ近くに車椅子や福祉用トイレを設けてください	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—
114	第4章	・車椅子用の座席の個数を増やしてください。車椅子の利用がない時などは一般の席としてご利用できるような工夫をお願いします。じっとしていられない。楽しくて奇声を発してしまう障害者のために、一般の方が理解をしやすいように、また、途中退場が可能な「優先席」を設けていただきたいです(利用者がいない場合は一般席となる)	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—
115	第4章	調律をしてもピアノ演奏中に軋むような音が出ています。演奏会アンケートでは、大勢の方からピアノの買い替えについてのご意見がありました。軋みは劣化に伴うものではないかと考えられます。芸術性をより高めるため、また聴衆の方のためにピアノ買い替えについては是非ご検討ください。	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—
116	第4章	新・千葉市民会館にかかる基本計画案についての要望 令和14年完成予定の新千葉市民会館はJR千葉駅に直結し、交通の利便性も優れた施設として市民の文化活動の拠点となることが期待されています。この新しい市民会館において、能楽をはじめとする日本の伝統芸能を市民が身近に鑑賞し、また次世代へ継承していく機会にも対応できる舞台環境の整備をお願い致します。 能楽は、ユネスコ無形文化遺産にも登録されている日本を代表する伝統芸能の一つです。しかし、能楽を専門に上演できる施設は限られており、地域において能楽に触れる機会を継続的に設けることは伝統文化の継承と文化振興の観点からも意義あるものと考えます。 新千葉市民会館は大ホール1400席、小ホール300席が計画されていることから、この機会に能楽について市民が鑑賞・体験できる施設を設けられることを希望致します。 つきましては以下の項についてご検討いただきたくお願い申し上げます。	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—
117	第4章	・仮設能舞台が設置できる舞台仕様の検討。 能舞台を常設することが難しい場合でも、必要に応じて仮設の能舞台を設置し能・狂言・仕舞・舞囃子等の上演が可能となるよう舞台の広さ、床面、搬入、収納場所等について設計段階からご検討いただきたい。	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—
118	第4章	・能楽公演に必要な設備、条件の確保 仮設能舞台設置に加え、能楽公演に必要な鏡板、舞台の柱、後見座、地謡座確保等について必要に応じ設置、使用できる環境を整備していただきたい。 また、能楽以外の伝統芸能、邦楽等にも柔軟に対応できる舞台設備として検討願いたい。	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—
119	第4章	・設備段階から専門家、関係者への意見聴取 能楽の舞台は一般的な舞台と異なる特徴があるため、施設の設計・仕様決定にあたっては能楽師・能楽関係者、舞台技術者等の意見を広く聞く機会を設けていただきたい。	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—
120	第4章	先日、宝生流教授囃託会で奈良に行きましたが 奈良春日の国際フォーラム能楽堂はとても立派でよい能楽堂でした。 能楽発祥の地だからと言ってしまえばそのとおりですが、同じ関東圏の神奈川県横浜市には横浜能楽堂があるのに囃子の複数の同好会もある千葉市に能楽堂がないのはとても残念と思います。政令指定都市・文化都市の千葉市として能楽活動にふさわしい会場・設備を願います。	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—
121	第4章	1 初めに 小ホールについて意見を述べさせていただきます。 現・千葉市民会館小ホールはアマチュア団体にとって規模や利用料金に手頃感があり魅力的ですがこれまで、所属する連合会の謡曲大会には利用した経緯がありません。その理由は舞台の奥行が狭いことに起因します。 2.新・千葉市民会館小ホールに関する意見(要望) 「新・千葉市民会館整備にかかる基本計画」43頁小ホール舞台の「修正基本計画」欄に ・アマチュアを主体とした様々な演目に対応できるような舞台開口幅、開口高さを確保する ・様々な催しに対応可能な舞台特殊設備を備え、多様な公演が可能な計画とする と記載されておりますことを大いに期待し、以下のとおり意見(要望)を述べさせていただきます。 (1)舞台の奥行について 能舞台が組めるように奥行8m(本舞台3間十後座1間)を確保して頂くこと。 当然のことながら間口も相応の広さを確保 ②舞台設備について ①「松羽目」を設置して頂くこと (現・千葉市民会館小ホールには無い) ②利用料金価な「簡易組み立て式能舞台」を設置して頂くこと 3.終わりに 能楽はユネスコ無形文化遺産にも登録されている日本を代表する伝統芸能の一つです。千葉は能楽愛好者が多いことでも知られていますが残念なことに拠点となる能楽堂がありません。本格的な能舞台をとまでは言いませんが、交通至便な千葉の中心地に建設される市民会館に是非とも反映していただき、世界に誇る能楽文化の普及発展に貢献できますことを心より念願いたします。	ご意見については、能楽に関する個別の設えに関するご要望として、今後の検討における参考とさせていただきます。	—

122	第 4 章	1.初めに ご承知の通り、能案はユネスコ無形文化遺産にも登録されている日本を代表する伝統芸能の一つです。能楽愛好者が多いことでも知られている我が千葉県ですが、残念なことに、市内には拠点となる能楽堂がありません。本格的な能舞台をとまでは申しませんが、交通至便な千葉駅に隣接して建設される市民会館に、当意見書を是非とも反映していただき、世界に誇る能楽文化の普及発展に貢献できることを心より願っています。 2.新・千葉市民会館小ホールに関する意見(要望) 1)現状の問題点 現・千葉市民会館小ホールはアマチュア団体にとって規模や利用料金に手頃感があり魅力的ですが、これまで、所属する能楽連合会の謡曲大会には利用しておりません。その理由は舞台の奥行が浅く、演目を充分に演じられないことに起因しています。 2)要望 「新・千葉市民会館整備にかかる基本計画」43頁小ホール舞台の「修正基本計画」欄に『・アマチュアを主体とした様々な演目に対応できるような舞台開口幅、開口高さを確保する・様々な催しに対応可能な舞台特殊設備を備え、多様な公演が可能な計画とする』と記載されており、以下の通り意見(要望)を述べさせていただきます。 (1)舞台の奥行について 能舞台が組めるように奥行8m(本舞台3間+後座1間)を確保することを主眼とし、当然のことながら間口も相応の広さを確保すること。 (2)舞台設備について ①能舞台の象徴「松羽目」を設置すること (現・千葉市民会館小ホールには設置無し) ②利用料安価な「簡易組み立て式能舞台」を設置すること	ご意見については、能案に関する個別の設えに関するご要望として、今後の検討における参考とさせていただきます。	—
123	第 4 章	①大ホールはオペラ公演が出来るものにしてください。	大ホールは、プロから市民利用まで多様な演目に高水準で対応する多機能ホールとして整備する予定であり、具体的な内容については、今後、運営手法等において検討、整理して参ります。	—
124	第 4 章	②千葉市には100人規模のホールが足りません。生涯学習センター地下の小ホールは大変使い勝手が良いです。新しい市民会館に100人規模の小ホールを作ってください。	小ホールは、市民活動の場となるホールとして、利用実態等から、300席程度の規模で整備することとしております。市民の皆様にとって、使い勝手が良くなるよう、基本設計等の中で検討を進めて参ります。	—
125	第 4 章	防災機能：防災避難拠点としての役割・機能を強化して欲しい 千葉豪雨について、市内の交通が麻痺、当日行政やモノレールのご支援もあり何とか帰宅できましたが、大変な時間を要しました。今後も天災等による混乱の可能性あり、建設が予定されている市民会館は立地・規模的にも市民の安全を守る「緊急避難場所」として機能を強化した施設であればより有難いと思いました。 ・災害時一時避難に対応できる十分なスペースの確保☑ ・断水時にも対応できる給水トイレ設備・防災備蓄庫 ・JR駅・モノレール駅やその他周辺施設からの容易な移動 ・雨水貯留施設/排水ポンプ/浸水防止設備の徹底	施設整備の考え方の中で、防災機能については、整備場所及び周辺環境を考慮し、災害時における災害防災倉庫の設置などを予定しておりましたが、千葉豪雨での新たな都市型の災害にも対応が必要であると考えていることから、ご意見を踏まえ、当該箇所について、記載を追記しました。	○
126	第 4 章	座席数について：座席数増やせないか（1700席～2000席程度） 周囲に聞いてもプロの講演(ポプス、演劇ミュージカル等)を東京まで行かずとも、日常的に千葉で見たいという声が多いです。埼玉県や神奈川県は誘致出来ているのに千葉県、特に千葉市は講演が少なく都内に依存していると感じています。県内を見渡しても市川市文化会館が1900席程度と座席数も多いこともあるのか千葉市内よりもプロ等の講演が多い様に感じます。これから整備するのであれば上記の防災拠点としてのスペース確保や市民の日常的な利用は勿論のこと、千葉にしながら、より上質の文化に触れる機会・可能性を増やして欲しいと思います。	大ホールの座席数は、プロから市民利用まで多様な演目に高水準に対応する多機能ホールとしたいと考えていることから、1500席程度としております。ご意見の趣旨は、今後、運営手法の検討等において、参考とさせていただきます。	—
127	第 4 章	駅から近くなり便利になるのは嬉しい。	新・市民会館は駅前の土地への移転を計画しております。混雑緩和のためにデッキ、屋外空地などを適切な広さ・位置で配置することを検討し、市民の皆様にとって利便性の高い施設を目指してまいります。	—
128	第 4 章	今より駅近になるのは良いこと。		
129	第 4 章	駅から近くなるのは良い。		
130	第 4 章	駅近であるのは良い。		
131	第 4 章	駅近くて便利（現状は遠い）。		
132	第 4 章	駅から近くなるのはいい。		
133	第 4 章	近くて良い！		
134	第 4 章	駅直結良い。		
135	第 4 章	駅直結であれば雨にぬれなくて良い。		
136	第 4 章	夏は暑いので駅からすぐ近くなるのは良いと思う。		
137	第 4 章	駅と一本道ではなく広くつないで、JRだけでなくモノレールなどともつながったらいと思う。		
138	第 4 章	雨にぬれず車イス移動がしやすい施設にしてほしい。		
139	第 4 章	ブリッジから直接行けることはとても良い。		
140	第 4 章	・ブリッジからの接続は良い、利便性向上納得！ ・多くの人が往来するのに耐える、幅の広いブリッジとしてほしい。		
141	第 4 章	移動がスムーズになるのはとても良い！		
142	第 4 章	できるの楽しみに待っています。建設地は西口だと思っていました。		
143	第 4 章	駅前の敷地が駐車場なのがあったいないし寂しいと思ってたのでいいと思う。		
144	第 4 章	今は駅から微妙に遠くでご高齢の方も大変。 オーケストラなどもやるなら駅からアクセスいいのが絶対良いと思う！		
145	第 4 章	バス・タクシー乗降の利便性・動線を考えて欲しい。		
146	第 4 章	反対。建設地が近すぎる。もっと歩いてほしい。		
147	第 4 章	クラシックパレエの施設をなくしたのがもったいない。新しい市民会館もそのような施設であってほしい。	新・千葉市民会館は多様な演目が上演できる多機能ホールとして検討しています。	—
148	第 4 章	クラシックイベントができるホールが良い。		
149	第 4 章	他県に比べて音楽ホールが少ないので、音楽専用ホールができるといいなと思う。		
150	第 4 章	パイプオルガンがあるようなオーケストラができる音楽ホールが良い。		
151	第 4 章	音楽ができるホール。（クラシックもポップスも）		
152	第 4 章	歌舞伎を観たい。舞台奥が開くようにしてほしい。		
153	第 4 章	花道を作れると歌舞伎などを呼べるので良い。		
154	第 4 章	室内楽、トークショー、コンサートができるホールが良い。		
155	第 4 章	映画館や健康イベントができるスペースがあると良い。		

156	第4章	温泉掘ってほしい！		
157	第4章	演じやすく、観やすい空間（特に演劇）であるため、ホールの席数は1,000席を希望する。	大ホールは、プロから市民利用まで多様な演目に高水準で対応する多機能ホールとして1,500席程度の計画とします。	－
158	第4章	せっかく新しくするなら1500席よりも大きい方がよかったのでは。		
159	第4章	大ホールの席数が増える＝需要があるということなので、とても良いと思う。		
160	第4章	・狭い敷地で実現できるのか？ ・高層階となるホールへの搬入は心配。十分な設備（エレベータ等）を備えてほしい。 ・劇場を理解した設計者選定をしてほしい。 ・すてきなホールになるはず。	今後の設計において検討してまいります。いただいたご意見は参考にさせていただきます。	－
161	第4章	外観には木材を使ったり、植栽をしっかり入れてみどりがあるようにしてほしい。		
162	第4章	千葉県産のものをえばアビールになるし、経済も潤う（建築素材やカフェのコースターなど）。		
163	第4章	音響をちゃんとしてほしい。		
164	第4章	免許講習の会場として引き続き使えるようにしてほしい。 音響を良くしてほしい。		
165	第4章	音響的にも免震になると良い（電車の走行音）。		
166	第4章	太鼓利用等、支障がないようにしてほしい（大ホール利用時、小ホールもつきたい）。		
167	第4章	音響が良いホールにしてほしい。		
168	第4章	音がよくひびく大ホールが良い。		
169	第4章	コンサート音響良くして（東京フィル公演を増やしてほしい）。		
170	第4章	・演者側として楽屋は広くあってほしい。 ・音響良くあってほしい（生涯学習センター音響が良い！）。		
171	第4章	音響設備を最新に（横からもどこからも音する立体音響のような）。		
172	第4章	・座りやすいイスにしてほしい（ホール）。 ・木、緑とか親しみのあるデザインにしてほしい。		
173	第4章	座席は前の人の頭が邪魔にならないように工夫して欲しい。		
174	第4章	・長時間座ってもつかれないイスとしてほしい。 ・トイレを使いやすくしてほしい。		
175	第4章	ホールとリハーサル室の動線を良くしてほしい。		
176	第4章	市民活動で気軽に使える部屋があると良い。		
177	第4章	固定観念にとらわれず柔軟に利用できる施設にしてほしい。		
178	第4章	舞台と楽屋の動線、搬入動線が良くなるといい。		
179	第4章	・合唱の練習ができるスペースがほしい。 ・階段がないようにしてほしい。		
180	第4章	施設内を1つの動線でバリアフリーにしてほしい！		
181	第4章	足が悪いので段差がないようにバリアフリーの施設としてほしい。		
182	第4章	階段の移動が大変だったので、バリアフリーにしてほしい。		
183	第4章	バリアフリーと普通のトイレ充実してほしい（車いすの方も使いやすく）。		
184	第4章	高齢者が多いので階段が少なく、足が悪い人でもすごしやすいようにしてほしい。		
185	第4章	・EV、ESCの計画を十分上手くしてほしい。 ・バリアフリー対策を良く考えてほしい。 ・車いす利用の動線わかりやすくしてほしい。		
186	第4章	洋式トイレを増やしてほしい。		
187	第4章	トイレがたくさんあると良い。		
188	第4章	市川市文化会館並の機能がほしい。		
189	第4章	小ホールは平土間ではなく、座席がある方が使いやすいです。		
190	第4章	立地が良くなるため、駐車場は少なくとも仕方ない		
191	第4章	駐車場が遠い、雨にぬれる（現市民会館）		
192	第4章	・駐車場が遠い。 ・雨にぬれないようにしてほしい。		
193	第4章	子どもを乗せたり、荷物を運ぶことを考えると、駐車場は十分にあった方がよい。		
194	第4章	道路幅がないため、大型トラックの通行する為の道路整備が必要と感じました。		
195	第4章	搬入口からの舞台へアプローチできる動線を確保してほしい。		
196	第4章	女性トイレを沢山作ってほしい。	ご意見のとおり、女性トイレの数への配慮は重要であると認識しており、第4章「2. 施設諸室の在り方」において大ホールの機能構成の中で、女性トイレの数には十分配慮することとしております。また、小ホールの機能構成の中でも以下の文を追記します。 ・特に、女性トイレの数には十分配慮する。	○
197	第4章	トイレ（女子）をいっぱいつくってほしい。		
198	第4章	・フリースペースがほしい。 ・パソコンルーム、充電できる場等がほしい。	利用しやすい共用スペースの実現に向けて今後の設計において検討してまいります。いただいた意見は今後参考にさせていただきます。	－
199	第4章	カフェ、無料で過ごせる電源のあるスペースがほしい。		
200	第4章	カフェ機能とか読書スペースがあると良い。		
201	第4章	駅前にたまり場ができるのは良いことだと思う。		
202	第4章	カフェは外国資本のチェーン店ではなく、千葉のコーヒー店や日本らしさを活かした店にしてほしい。		
203	第4章	・子どもが無料で遊べる施設や図書館を作ってほしい。 ・共有スペースができるのは良いと思う。		
204	第4章	PC作業スペースがほしい。（カフェ・充電・wifi）		
205	第4章	図書館、カフェ、ワークスペースがあると良い。		
206	第4章	フリースペース（涼しい場所）、パブリックビューイングができる場所がほしい。		
207	第4章	自習スペースを作ってほしい。		
208	第4章	使ってない時も休める休憩スペースを作ってほしい。		
209	第4章	そごうなど、駅周辺で座って休める場所が減ったので、気軽に入れる場所ができるのはとても良いと思う。		
210	第4章	芝生広場など子どもがあそべる場所がほしい。		
211	第4章	お笑いなど楽しめる興業を呼べる施設にしてほしい。	いただいた意見は今後参考にさせていただきます。魅力的な演目が上演される施設となるよう検討していきます。	－
212	第4章	スマホや水の備蓄をして、災害対策や帰宅支援ができる施設としてほしい。	災害時の避難施設として使用することを前提とし、今後の設計段階で検討してまいります。	○
213	第4章	駅前ということもあるので、帰宅困難者を受け入れられるようになったらいいと思う。		

214	第 5 章	公共性の面からも市民がホールを利用する際の費用は安くあるべきと考える。	施設の利用料金については、今後着手する予定の管理運営の中で検討して参ります。なお、本市では、自主財源の確保と受益者負担の適正化を図る観点から「千葉市公共施設使用料等設定基準」を策定し、施設の管理運営費に係る行政と利用者の負担のあり方や、負担すべき経費の範囲を定め、料金設定の基準を明確にしております。	—
215	第 5 章	②想定事業費280億円は、建設費だけでその土地の取得費、又はリース料の産出はしましたか？	土地取得に要する費用については、今後、関係者との協議・調整を行っていきます。	—
216	第 5 章	新・千葉市民会館の指定管理者は公募すべきである。	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—
217	第 5 章	5階建ての市民会館だけでは駅前の土地の活用方法としては不十分である。例えば、千葉市観光協会の案内所、男女共同参画センター、屋内プレイグラウンドとこども図書館、中央図書館分館、市民活動支援センター、市民ギャラリー、障害者基幹相談センター、福祉まるごと相談センター、中央区役所、バスターミナル（東口の混雑緩和）など、多様な機能をもたせるために、高層化を検討してはどうか。	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—
218	第 5 章	市民会館について、市民の一番の関心は事業費であり、土地を買い取るのか、借りるのか、それによる毎年の影響額はどうかといったことではないか。また、他の土地を想定して事業費を試算し、比較した結果、千葉駅前が最も適切であるとの説明が必要ではないか。駅前の再開発は、建設費の高騰により、隣の習志野市でも頓挫しており、ホールの建設が見通せない状況となっている。同じ轍を踏まないためにも、市が有する土地での試算、現在の市民会館の大規模改修や建て替えによる試算も入れていただきたい。	整備予定地のJR東日本千葉支社跡地等開発区域の一部土地取得に要する費用については、今後、関係者との協議・調整を踏まえ、内容及び費用を整理します。いただいたご意見は参考にさせていただきます。	—
219	第 5 章	新市民会館の整備について、私は現在の計画を一度立ち止まって再検討していただきたいと考えています。 私はこれまで千葉市民会館を利用したことがなく、今後も利用する機会がどの程度あるのか分かりません。もちろん、市民が文化芸術に触れる機会を確保することや、市民団体等が活動できる場を整備すること自体を否定するものではありません。しかし、今回計画されている新市民会館は、約1,500席の大ホールと約300席の小ホールを備え、想定事業費は約280億円とされています。さらに、公共施設は建設して終わりではありません。完成後には、設備の維持管理、修繕、更新、光熱水費、運営費など、長期間にわたって多額の財政負担が発生します。現在の千葉市は、社会保障関係経費の増加、市有施設の老朽化対策、物価高騰、人件費や金利の上昇などにより、財政需要が増加しています。また、財政調整基金についても取崩しが続いています。市自身が現在の財政状況について「極めて厳しい収支状況」と説明している中で、新たに約280億円規模の大型公共施設を整備することが、本当に現在の千葉市にとって優先すべき事業なのか、疑問を感じます。特に疑問に感じているのが、大ホールを約1,500席とする規模の妥当性です。現在の千葉市民会館は、大ホール1,001席、小ホール316席です。今回の計画では、大ホールを約1,500席へと大幅に拡大することになります。千葉市内にはすでに文化ホール等が存在しており、それらでは対応できない大規模なイベントについては、千葉県文化会館や千葉県内にある他市の文化ホールをはじめとする既存の大規模施設や、民間のホール・イベント施設を活用するという選択肢もあります。 「千葉市の文化芸術の中心施設」として一定規模のホールが必要であることは理解できます。しかし、行政があらゆる規模のイベントに対応できる施設を自ら保有する必要があるのでしょうか。市民会館として必要な機能を確保しつつ、本当に必要な規模に見合った、身の丈に合った施設とする必要があるのではないのでしょうか。	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—
220	第 5 章	また、市民会館の老朽化への対応が必要なのであれば、最初から「新築ありき」とするのではなく、既存施設の大規模改修や、他の公共施設との機能統合、さらには施設を廃止して他の施設や民間施設を活用する選択肢についても、改めて比較検討していただきたいです。 （中略） 約280億円もの事業費を投じて新たな大型公共施設を整備することが、将来の千葉市の財政にどのような影響を与えるのか、建設費だけではなく、少なくとも30年、50年単位での維持管理・修繕・更新費用まで含めた長期的な財政負担を、市民に分かりやすく示していただきたいです。 （中略） 千葉市においても、「新しい施設を造る」という発想だけではなく、既存施設をどのように活用できるのか、本当に必要な機能は何なのか、民間施設や既存の公共施設で代替できないのか、現在の計画規模は本当に適切なのか、将来の維持管理・更新費用を含めても持続可能なのか、という視点から、改めて検証していただきたいです。 （中略） 市民会館の必要性、現在の利用実態、将来の利用需要、既存施設や民間施設との役割分担、建設費だけでなく長期的な維持管理・修繕・更新費用、そして今後予定されている他の大型事業との優先順位について、総合的に検証していただきたいです。	事業手法について幅広く検討し、市負担の軽減及び事業費の縮減に努めます。 いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—
221	第 5 章	その上で、少なくとも以下の点について、十分な比較検討と市民への説明を行っていただくことを強く要望します。 ① 千葉市が1,500席前後の大ホールを所有することが、本当に必要なか。 ② 大規模イベントについては、千葉県文化会館や千葉県内にある他市の文化ホール等の既存施設や民間施設を活用することができないのか。 ③ 建設費約280億円だけでなく、将来の維持管理・修繕・更新費用を含めた長期的な総事業費を明示できないか。 ④ 他の老朽化した公共施設や、今後予定されている大型事業との優先順位を明確にできないか。 限られた市民の税金を、どこに、どのように使うのか。 現在の市民の利便性だけではなく、将来の千葉市民に過大な負担を残さないという視点も必要です。 文化芸術の振興や市民活動の場を確保することは重要です。しかし、それを実現する方法が、現在計画されている約280億円規模の新市民会館でなければならないのかについては、改めて検討する余地があるのではないのでしょうか。 「建設できるか」ではなく、「将来にわたって無理なく維持できるか」。 この視点を重視し、現在の新市民会館整備計画について、一度立ち止まって再検討していただくことを強く要望します。	事業手法について幅広く検討し、市負担の軽減及び事業費の縮減に努めます。 いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—

222	第 5 章	【意見】 財政負担の軽減や民間ノウハウの活用を前提とした整備・運営手法の検討について賛同いたします。施設のライフサイクルコスト（LCC）を最適化するため、初期投資の平準化や維持管理の効率化に資する「エネルギーサービス事業（ESP）」やリース方式など、施設の規模や特性に応じた最適な民間活用スキームの検討を進めることを要望いたします。 【理由・提案】 施設の持続可能性を高めるためには、インシャルコストのみならず、エネルギーマネジメントを通じた将来にわたるランニングコストの適正化が不可欠です。設備の所有・維持管理を民間事業者が担うESPや、包括的な委託契約等の導入も含め、民間事業者との対話を通じて事業手法を深化させていくことを期待します。エネルギー供給や施設管理の専門的知見を有する民間事業者のノウハウを柔軟に引き出すことで、千葉市の目指す「持続可能な施設運営」が実現されることを願っております。	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—
223	第 5 章	6. 持続可能な施設・管理運営 持続可能な施設運営を実現するためには、建設費だけではなく、その後数十年間の維持管理費、運営費、更新費を含むライフサイクル全体を考える必要があります。 公共性を維持しながらも、市の財政負担だけに依存しない事業モデルを構築するため、 ・ PPP・PFI等による民間活力の活用 ・ 民間事業者による施設運営 ・ 国内外のコンテンツ企業との提携 ・ ネーミングライツ、スポンサーシップ ・ 商業・飲食機能 ・ イベント・コンテンツ収入 ・ デジタル配信・IP関連事業 ・ 民間資金、国内外の投資資金の活用 など、複数の収益源を組み合わせることが望まれます。 単に「税金で維持する公共施設」ではなく、公共性を確保しながら、自ら需要と価値を創出する公共アセットとすることが、持続可能な施設・管理運営につながります。海外からの資金を導入するグローバル金融からの視点が重要です。	新しい市民会館は、文化芸術活動を支える拠点であるだけでなく、新たな文化や地域の魅力を創造・発信する文化交流拠点として千葉都心の活性化や都市全体の魅力向上をけん引する役割を担っていく必要があり、企業や市民等が様々な形で関わり、施設をともにつくり、育てていくことは大切であると考えております。そのため、本計画では、市民意見やアンケート等をあらためて行い、市民活動などを含め必要な機能の整理を行ったほか、事業計画では、整備手法において民間の技術力やノウハウを効果的に活用した品質の確保等、運営手法では上記の考え方の実現に向け民間活力の導入を前提に検討を進めていく予定です。ご意見の趣旨は含まれていると考えておりますが、基本設計などを進める上では大切な内容と考えておりますので、今後の検討の参考とさせていただきます。	—
224	第 5 章	整備手法等について、駅前の立地である事を最大限に活かして、市民会館だけでなく、例えば市民活動支援センターなど市民のための施設を併設できたら、さらに市民に親しまれる場所になるのではないかと思います。建築基準法に適合する規模は限られていますし、建物に機能を追加していけばその分事業費も膨らんでいくことは承知していますが、民間の力を活用するなど課題を解決できるよう頑張っていたきたいです。期待しております。	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—
225	第 5 章	◎建設予定地について JR東日本の用地に建設予定だが、土地を取得するに於て借用でも高額のコストがかかる。建設費だけでも280億円を見込んでいるので、財政に及ぼす影響をどう考えるか？ 用地にかなりの額が想定されるので、市民会館単独の建築物でなく、複合施設の可能性を考えてもいいのではと思うがいかがか？	事業手法について幅広く検討し、市負担の軽減及び事業費の縮減に努めます。 いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—
226	第 5 章	①候補地は三か所あったと思います。ここでは千葉駅周辺、JR千葉支社跡地を想定しています。想定事業費280億円としていますが、借地料が発生するものではありませんか。年間の借地料金を明示すべきです。	令和3年11月に策定した基本計画では、候補地を3か所（JR千葉支社跡地、②千葉中央コミュニティセンター、③現地）とし、交通アクセス、周辺環境、まちづくり等の点から評価し、総合的に優位となったJR千葉支社跡地を整備予定地としたところです。その後、令和5年9月にJRの計画見直し等があったことから、改めて市として検討を行いました。その際には、千葉中央コミュニティセンターは減築大規模改修工事に着手するなど、当初計画の状況とは異なっていたことから、市有地（将来活用検討地）とJR千葉支社跡地について、全体事業費や市民等の利便性などを総合的に勘案し、検討を行った結果、再整備にあたっては、JR東日本千葉支社跡地が優位であることから、当該用地で整備することとし令和7年6月に方針を示したところであり、それを踏まえ関係者間の協議を行い、基本計画として整理しております。なお、その際の比較において、JR千葉支社跡地は、財源活用などの可能性から、取得する方向としたこと、また、市有地は借地料は発生しないことを前提にしたところです。	—
227	第 5 章	②候補地のうち、現市役所の駐車場があったと思います。市の所有地であれば借地料は発生しないのですか。		
228	第 5 章	③想定事業費は三か所全部について算出して、市民に問うべきです。		
229	第 5 章	費用についても良く考えてほしい。	事業手法について幅広く検討し、市負担の軽減及び事業費の縮減に努めます。	—
230	第 5 章	予算が足りないならクラウドファンディングなどで集めた方がいい。		
231	第 5 章	予約の仕方、システムを再考してほしい。 →抽選システムを変えてほしい（国の祝日イベント等その日のイベントなのに抽選だとその日にとれない）	今後管理運営計画にて検討します。いただいた意見は参考にさせていただきます。	—
232	第 5 章	練習室、会議室の予約システムを分かりやすくしてほしい。		
233	第 5 章	早くつくってほしい。	開館時期は令和14年度以降を予定しています。 開館まで今後も情報を発信して参ります。	—
234	第 5 章	早くつくってほしい。		
235	第 5 章	なるべく早くオープンしてほしい。		
236	第 5 章	思っていたよりも早く完成するんですね！ すごい！楽しみにしています		

237	その他	日本は中国、朝鮮半島から移民があった国です。これまでは統一された国家という意識を持っていました。日本は少子化が始まりました。労働力の減少や女性の社会進出や同性愛者や障害者の社会参加を推奨し、一部の人間を基準にした賞罰がなくなりつつあります。 移民政策が人口の減少に拍車をかけています。日本海周辺諸国からの移民だけでなくベトナムやカンボジアやタイやバングラディッシュ人など、目を引くことに黒人や白人も通学時間に見えられるようになりました。現在の時点で通勤時間の様子です。彼らは神道、仏教だけでなく、キリスト教とかイスラム教とかヒンドゥー教を信仰していたり、肌の色も考え方も開きがあります。同じことを考えてない人たちの共同生活が始まるでしょう。 移民政策は統一国家から共和制国家に変革を与えようと思われます。移民は神道を信じてないのは当たり前の人たちであり、天皇や国家もそんなに存続しなくていいと考えています。彼らと共存するには対話と共通理解という集団の社会になると考えられます。共存する時代にユニット型の文化会館は象徴にならないのではないのでしょうか。中心に空白になっているけど観衆が周りを取り囲んでいる。海外では屋外劇場が有名です。別の言い方をすると、ユニット型の空調やデジタル通信設備のある芸術をやりたいたら他県でもできるが、多民族でやるなら千葉なんじゃないかという地域の特色になることでしょ。 ですから、千葉市文化会館は屋外型のコロッセオ型演劇設備にするといいと考えます。	頂いたご意見については、今後の検討の参考にさせていただきます。	—
238	その他	・幕張新都心との役割分担 千葉市は千葉駅周辺に加えて幕張新都心という大きな魅力を持つ街を抱えています。千葉駅周辺と幕張新都心という二つの都市拠点が両雄並び立つようそれぞれの魅力を意識した開発が必要かと感じます。幕張新都心は華やかな国際イベントやビジネスの拠点として発展してきました。一方、千葉駅周辺は県都として文化や歴史、落ち着いた時間を楽しめる都市空間として発展していくことを期待します。 市民会館の落ち着いた大人の文化施設としての役割はその中核に相応しいものです。カフェなどの付帯施設や周辺の商業施設、デッキの有意義な活用も含めて、ただ単にイベントに集うだけではない、ゆっくりと時間を過ごしたくなる街になると良いですね。	施設計画における施設内の空間構成の中では、共有スペースを「誰もがふらっと訪れやすい、親しみ、ふれあいのある共有スペース」として、カフェなどを検討し、日常利用が可能なスペースを提供する予定であり、頂いたご意見については、今後の検討の参考にさせていただきます。	—
239	その他	今の市民会館を改装し、駅前には商業施設を建て、千葉駅からモノレールまで直結のデッキを設	本施設を千葉駅前に整備することにより、本市の文化芸術活動を支え、人々が交流し新たな文化や地域の魅力の創造発信する拠点として、本市の文化芸術の振興、千葉都心の活性化、都市全体の魅力向上をけん引する重要な役割を担う施設となることから、着実に取組を進めていくことが大切であると考えております。	—
240	その他	憩いの場所になればいいです。	施設内空間構成の中で、共有スペースについては、「誰もがふらっと訪れやすい、親しみ、ふれあいのある共用スペース」として、カフェ等の設置により日常利用が可能なスペースを提供することを検討する予定であり、頂いたご意見については、今後の検討の参考にさせていただきます。	—
241	その他	千葉ロッテマリーンズの新球場のように、民間企業と手を組んだ方が良い。箱物は建ててもメンテナンス費用等ランニングコストがかかるため、利益が出るよう民間（イオン、JR東日本など）と共同にすべき。	事業計画の中の事業手法においては、民間の技術力やノウハウを効果的に活用し、コストの最適化等事業の確実な実施を図るほか、運営手法では、収入の増加に努めながら、限られた財源の中で効率的かつ効果的な運営を行うため、民間活力の導入を前提に検討することとしており、ご意見の趣旨を踏まえていると考えております。	—
242	その他	・千葉駅西口方面から大型トラック（11T 15T）が出入りする会館になると思います。現在のバス・タクシー乗降の道路幅は狭くタクシーと大型との離合はできるのでしょうか。またペリエに沿った道路幅も狭く歩道も充分に整備はされていません。現在案の敷地に会館建設であれば、近隣の道路整備が必須と思います。	近隣の道路整備も考慮したうえで、今後の設計で検討します。	—
243	その他	機能が重なる千葉市文化センターは統合して廃止すべきである。	公共施設の再配置等については、市の資産経営の考え方を踏まえ必要性がある場合に検討します。	—
244	その他	・千葉市HP「意見募集・パブリックコメント手続き」及び次の「パブリックコメント」「その他手法による意見募集」でも掲載がなく、探しにくくなっています。改善をお願いします。	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—
245	その他	1. 新市民会館のめざす回遊性について ・千葉駅から1分で、駅から繋がって入れる便利な立地なので、そこから他のところに足を延ばそうと思ってもらえる魅力的な場所を広報してほしい。 ・自動車で来る人を少なく見慣れもってよいと思う。近くの駐車場を使ってもらう。	いただいたご意見は今後参考にさせていただきます。	—
246	その他	アイドル・歌舞伎等・コンサート等色々な演目に対応してほしい。	いただいた意見は今後参考にさせていただきます。魅力的な演目が上演される施設となるよう検討していきます。	—
247	その他	サーカスがみたい（市原でむかし見た）。		
248	その他	行きたくなるようなイベントが実施されてほしい。		
249	その他	コンサートやプロレスなど		
249	その他	ライブをやってほしい。		
250	その他	歌舞伎をみてみたい。		
251	その他	色々な催しを呼べるようにしてほしい。		
252	その他	演歌のコンサートをやってほしい。		
253	その他	惹かれるイベントがあると良い！ →公演以外に来れるところがあると良い（落語によく行っていた）		
254	その他	PARCO劇場みたいに舞台をやってほしい。		
255	その他	・子どもの遊び場。 ・駅直結で良い。 ・健康に関するイベントを開催してほしい。 ・高齢者・子どもにとって利便性の高い施設としてほしい。	ホール整備をすることによって、市民の皆様文化活動や千葉市の文化の発展につながるよう検討を進めてまいります。	—
256	その他	良い施設を作って文化が広まっていくように頑張してほしい。		
257	その他	合唱など子どもが出ている催事を見に行く。市民会館がないと困ると思うのでしっかり実現してほしい。		
258	その他	・新市民会館を本当に作りたいという気持ち、気合いがほしい。 ・暑さに配慮した施設としてほしい。 ・説明会を開催してほしい。		
259	その他	この辺りでたまに路上ライブをしている人を見かけます。そういうのを聞くことが好きだったりするのですが、近場にホールができると、道端でやることに尻込みしそうだ、と思いました。空きスペースを全て何かしらつめこんでしまうと自由なことがしにくくなってしまわないか心配です。		